

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター記録 (5)

I. (公社) 茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

II. (公社) 茨城県歯科医師会 口腔センター土浦

平成27年度

(平成27年4月～平成28年3月)



公益社団法人

茨城県歯科医師会

Ibaraki Dental Association

目 次

1. 在 籍 者 名 簿	2
2. 誌 上 発 表	6
3. 口 演 ・ ポ ス タ ー 発 表	8
4. 口 演 ・ ポ ス タ ー 発 表 抄 録	11
5. 講 演 会 ・ 研 修 会	22
6. 講 演 会 ・ 研 修 会 要 旨	25
7. 口 腔 セ ン タ ー 案 内 リ ー フ レ ッ ト	30
8. セ ン タ ー 自 主 勉 強 会	32
9. 患 者 統 計 ・ 研 究 業 績	33
10. 写 真 で 綴 る こ の 1 年	41
11. 録 事	50
12. 編 集 後 記	59

1. 在 籍 者 名 簿

1. 口腔センター水戸



関口 浩
歯科医師



大森 勇市郎
歯科医師



三田村 佐智代
歯科医師



森永 桂輔
歯科医師



景山 万貴子
歯科医師



グリーンナン せつゑ
歯科医師



野村 美奈
歯科衛生士



鈴木 哉絵
歯科衛生士



鬼澤 璃沙
歯科衛生士



山下 千春
歯科衛生士



金子 雅子
歯科衛生士



高橋 裕子
歯科衛生士



横山 恵美子
歯科衛生士



磯野 敦
言語聴覚士



庄司 紀子
看護師



高橋 千恵子
看護師



磯部 昌己
受付事務

1. 在 籍 者 名 簿

I. 口腔センター水戸

関口 浩（専任歯科医師）、センター長、医療管理者 在籍期間：平成21年9月1日～現在 日本障害者歯科学会認定医，日本小児歯科学会専門医指導医，日本外傷歯学会指導医
大森 勇市郎（非常勤歯科医師） 大森矯正歯科クリニック院長 在籍期間：平成5年4月12日～現在 日本障害者歯科学会認定医，日本矯正歯科学会認定医
三田村 佐智代（非常勤歯科医師） 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座講師 在籍期間：平成18年4月1日～現在 日本障害者歯科学会認定医，日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
森永 桂輔（非常勤歯科医師） 森永歯科医院副院長，富士市立中央病院・石岡第一病院非常勤麻酔医 在籍期間：平成22年5月1日～現在 日本歯科麻酔学会認定医，アメリカ心臓協会（AHA）BLSインストラクター 日本救急医学会ICLSインストラクター
景山 万貴子（非常勤歯科医師） 日本大学松戸歯学部顎顔面矯正学講座助手 在籍期間：平成25年4月1日～現在
グリーンアンセツ（非常勤歯科医師） 在籍期間：平成27年4月1日～現在 日本障害者歯科学会認定医，日本小児歯科学会専門医
野村 美奈（常勤歯科衛生士）、主任 在籍期間：平成19年4月1日～現在 平成11年4月1日～平成19年3月31日 茨城歯科専門学校歯科衛生士科 日本障害者歯科学会認定歯科衛生士，日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（摂食嚥下リハビリテーション）
鈴木 哉絵（常勤歯科衛生士）、指導主事 在籍期間：平成21年4月1日～現在 日本障害者歯科学会認定歯科衛生士 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（摂食嚥下リハビリテーション）
鬼澤 璃沙（常勤歯科衛生士）、助手 在籍期間：平成25年4月1日～現在 平成23年4月1日～平成25年3月31日 茨城歯科専門学校歯科衛生士科
山下 千春（常勤歯科衛生士）、助手 在籍期間：平成26年4月1日～平成28年3月31日異動 （平成28年4月1日より茨城歯科専門学校歯科衛生士科に異動）
金子 雅子（非常勤歯科衛生士） 在籍期間：平成13年5月11日～現在 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（在宅療養指導，口腔機能管理）
高橋 裕子（非常勤歯科衛生士） 在籍期間：平成15年2月3日～現在
横山 恵美子（非常勤歯科衛生士） 在籍期間：平成27年4月1日～現在
磯野 敦（非常勤言語聴覚士） 在籍期間：平成27年4月1日～現在 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士，認定言語聴覚士（摂食・嚥下障害領域） 児童発達管理責任者
庄司 紀子（派遣看護師） 茨城県病院局職員（茨城県立中央病院勤務） 派遣期間：平成26年6月1日～現在
高橋 千恵子（派遣看護師） 茨城県病院局職員（茨城県立中央病院勤務） 派遣期間：平成26年6月1日～現在
磯部 昌己（非常勤） 在籍期間：平成25年4月22日～現在

1. 在 籍 者 名 簿

II. 口腔センター土浦



丸山 容子
歯科医師



高木 伸子
歯科医師



梅澤 幸司
歯科医師



西山 めい
歯科医師



地主 知世
歯科医師



坂巻 ますみ
歯科衛生士



引地 美穂
歯科衛生士



木村 貴子
歯科衛生士



石居 由香
歯科衛生士



狩野 晴美
歯科衛生士



手塚 文栄
管理栄養士

1. 在 籍 者 名 簿

II. 口腔センター土浦

丸山 容子（非常勤歯科医師）、医療管理者 在籍期間：平成6年4月1日～現在 日本障害者歯科学会認定医，日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
高木 伸子（非常勤歯科医師） たかぎ歯科医院長 在籍期間：平成4年9月29日～現在 日本小児歯科学会専門医，日本障害者歯科学会認定医，介護支援専門員 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士，日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
梅澤 幸司（非常勤歯科医師） 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座講師 在籍期間：平成21年9月1日～平成27年12月7日退任 日本障害者歯科学会指導医，認定医
西山 めい（非常勤歯科医師） 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座助手 在籍期間：平成27年4月3日～現在 日本障害者歯科学会認定医
地主 知世（非常勤歯科医師） 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座助手 在籍期間：平成27年12月14日～現在 日本障害者歯科学会認定医
坂巻 ますみ（常勤歯科衛生士）、主任 在籍期間：平成25年4月1日～現在 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
引地 美穂（常勤歯科衛生士）、助手 在籍期間：平成27年4月1日～現在
木村 貴子（非常勤歯科衛生士） 在籍期間：平成17年10月25日～現在 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
石居 由香（非常勤歯科衛生士） 在籍期間：平成21年5月11日～平成28年3月31日退職 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
狩野 晴美（非常勤歯科衛生士） 在籍期間：平成21年6月12日～現在 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
手塚 文栄（非常勤管理栄養士） 在籍期間：平成9年7月7日～現在 管理栄養士，准看護師，日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士，日本栄養士会認定在宅訪問管理栄養士

2. 誌 上 発 表

I. 口腔センター水戸

No.	題 名	著 者	掲載誌	発行日
1	当センター受診者の満足度および要望に関するアンケート調査	金子 雅子 高橋 裕子 山下 千春 関口 浩 野村 美奈 鈴木 哉絵 鬼澤 璃沙 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.553 4月号 26-29頁	平成27年4月
2	歯科衛生士として一年を振り返って	山下 千春 関口 浩 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.555 6月号 29-30頁	平成27年6月
3	茨城県歯科医師会主催第1回障害児・者歯科講演会報告	関口 浩 鬼澤 璃沙 山下 千春 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.556 7・8月号 36-38頁	平成27年 7・8月
4	発達障害の理解と発達を促す関わり方の講演会を受講して	高橋 裕子 関口 浩 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.556 7・8月号 38-39頁	平成27年 7・8月
5	「ことばの教室」の現状と課題について	磯野 敦 関口 浩 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.558 10月号 16-18頁	平成27年10月
6	口腔センター水戸に勤務して	横山恵美子 関口 浩 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.560 12月号 37頁	平成27年12月
7	平成27年度摂食嚥下研修会を開催して	三田村佐智代 野村 美奈 鈴木 哉絵 鬼澤 璃沙 山下 千春 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.562 2月号 14-16頁	平成28年2月

2. 誌 上 発 表

II. 口腔センター土浦

No.	題 名	著 者	掲載誌	発行日
1	健康咀嚼指導士フォローアップセミナーに参加して	狩野 晴美 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.554 5月号 7-8頁	平成27年5月
2	当センターにおける最近5年間の初診患者の実態調査	坂巻ますみ 丸山 容子 高木 伸子 伊藤 梓 梅澤 幸司 野本たかと 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.556 7・8月号 39-41頁	平成27年 7・8月
3	～居宅療養管理指導（栄養訪問）を行ったA氏の症例報告～多職種連携で褥瘡等が改善し、歯科導入で肺炎入院がなくなり、家族念願のショートステイ利用が叶い、自宅で最期を迎えられたA氏の訪問栄養報告	手塚 文栄	茨歯会報 No.558 10月号 19-20頁	平成27年10月
4	口腔センター土浦での半年を振り返って	西山 めい 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.559 11月号 35-36頁	平成27年11月
5	日本障害者歯科学会に参加して	引地 美穂 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.561 1月号 25-26頁	平成28年1月
6	茨城県歯科医師会主催 第2回障害児・者歯科講習会報告	丸山 容子 高木 伸子 坂巻ますみ 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	茨歯会報 No.563 3月号 19-22頁	平成28年3月

3. 口演・ポスター発表

I. 口腔センター水戸

No.	発表形式	題 名	発表者	発表学会	発表日	抄録掲載誌
1	ポスター	某歯科医師会主催による 「障害児・者のための摂食嚥 下研修会」について ー第1報：研修会に関する 調査ー	野村 美奈 三田村佐智代 鈴木 哉絵 鬼澤 璃沙 山下 千春 野本たかと 森永 和男	第 21 回 日本摂食嚥下 リハビリテー ション学会 学 術 大 会 (京都)	平成27年 9月12日	大会プログラム ・抄録 511頁
2	ポスター	某歯科医師会主催による 「障害児・者のための摂食嚥 下研修会」について ー第2報：受講後の知識に ついてー	三田村佐智代 野村 美奈 鈴木 哉絵 鬼澤 璃沙 山下 千春 森永 和男 野本たかと	第 21 回 日本摂食嚥下 リハビリテー ション学会 学 術 大 会 (京都)	平成27年 9月12日	大会プログラム ・抄録 512頁
3	ポスター	Questionnaire on satisfaction of outpatients	関口 浩 山下 千春 金子 雅子 高橋 裕子 鬼澤 璃沙 鈴木 哉絵 野村 美奈 森永 和男	台 灣 身 心 障 礙 者 口 腔 醫 學 會 (高雄)	平成27年 10月 3・4日	
4	ポスター	当センター受診者の満足度 および要望に関するアン ケート調査	山下 千春 金子 雅子 高橋 裕子 鬼澤 璃沙 鈴木 哉絵 野村 美奈 関口 浩 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	第 32 回 日本障害者歯 科学会総会 お よ び 学 術 大 会 (名古屋)	平成27年 11月7日	日 本 障 害 者 歯科学会雑誌 36巻3号 315頁
5	口 演	90分間に及ぶ心停止の間、 有効なACLSを行い、蘇生 に成功した症例	森永 桂輔	第 24 回 茨 城 県 会 歯 科 医 学 会 (水戸)	平成28年 3月6日	大会プログラム ・抄録 19頁
6	口 演	前歯部開咬症への取組み	大森勇市郎	第 24 回 茨 城 県 会 歯 科 医 学 会 (水戸)	平成28年 3月6日	大会プログラム ・抄録 21頁

No.	発表形式	題 名	発表者	発表学会	発表日	抄録掲載誌
7	ポスター	低年齢から摂食嚥下指導を行ったダウン症候群の症例	鈴木 哉絵 野村 美奈 鬼澤 璃沙 山下 千春 金子 雅子 高橋 裕子 三田村佐智代 関口 浩 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	第 24 回 茨 城 県 会 歯 科 医 学 会 (水戸)	平成28年 3月6日	大会プログラム ・抄録 24頁
8	ポスター	地域における言語聴覚士の活動	磯野 敦 関口 浩 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	第 24 回 茨 城 県 会 歯 科 医 学 会 (水戸)	平成28年 3月6日	大会プログラム ・抄録 25頁
9	ポスター	障害児・者歯科研修会受講者に対するアンケート調査	関口 浩 大森勇市郎 三田村佐智代 森永 桂輔 グリーンンせつる 高木 伸子 梅澤 幸司 野村 美奈 鈴木 哉絵 手塚 文栄 岩崎 淳也 森永 和男	第 24 回 茨 城 県 会 歯 科 医 学 会 (水戸)	平成28年 3月6日	大会プログラム ・抄録 27頁

3. 口演・ポスター発表

II. 口腔センター土浦

No.	発表形式	題 名	発表者	発表学会	発表日	抄録掲載誌
1	ポスター	当センター受診者の満足度 および要望に関する意識調査	坂巻ますみ 伊藤 梓 梅澤 幸司 高木 伸子 丸山 容子 関口 浩 野本たかと 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	第 32 回 日 本 障 害 者 歯 科 学 会 総 会 お よ び 学 術 大 会 (名古屋)	平成27年 11月7日	日 本 障 害 者 歯 科 学 会 雑 誌 36巻3号 328頁
2	ポスター	窒息事故リスクの高い生徒 の抽出に有用な行動項目の 検討—特別支援学校におけ る窒息事故予防のためのア ンケート調査：第2報—	手塚 文栄 高木 伸子 木村 明美 服部沙穂里 星出てい子 中村 勇	第 32 回 日 本 障 害 者 歯 科 学 会 総 会 お よ び 学 術 大 会 (名古屋)	平成27年 11月7日	日 本 障 害 者 歯 科 学 会 雑 誌 36巻3号 469頁
3	ポスター	自閉スペクトラム症患者的 歯科治療の1例	丸山 容子 高木 伸子 坂巻ますみ 引地 美穂 木村 貴子 石居 由香 狩野 晴美 村居 幸夫 征矢 亘 森永 和男	第 24 回 茨 城 県 歯 科 医 学 会 (水戸)	平成28年 3月6日	大会プログラム ・抄録 28頁

4. 口演・ポスター発表抄録

I. 口腔センター水戸

発表 No.1

某歯科医師会主催による「障害児・者のための摂食嚥下研修会」について —第1報：研修会に関する調査—

野村美奈¹，三田村佐智代^{1,2}，鈴木哉絵¹，鬼澤璃沙¹，山下千春¹，野本たかと²，森永和男¹
茨城県身体障害者小児歯科治療センター¹，日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座²

【緒言】

当センターでは平成24年度から地域の障害児・者に関わる職種を対象に、摂食嚥下に関する基礎的な知識や技術の向上をはかり、より熟練した支援者の育成のための摂食嚥下研修会を開催してきた。研修会を開始し3年が経過し、今後のよりよい研修会のあり方を模索することを目的に取り組みをまとめ、さらに受講者に対しアンケート調査を実施し、検討を行ったので報告する。

【研修会内容】

研修会の開催回数は平成24年度に5回、平成25、26年度は6回であった。講義内容は摂食嚥下に関する構造や機能と摂食嚥下の過程、哺乳・離乳・自然機能の発達過程とその障害、障害別の対応などであった。

【調査対象および方法】

研修会の受講者を対象に無記名、自記式の質問票を配布し回収した。調査項目は、属性、講義および実習時間等の満足度、研修内容の理解度、研修会への要望などとした。

【結果】

受講者は平成24年度130名、平成25年度137名、平成26年度108名であった。受講者の職種は教諭が最も多く26.1%であり、次いで歯科衛生士16.2%であった。具体的に希望する研修会の内容では事例検討、評価方法、実技の充実などがあげられた。

【まとめ】

受講者は教育や医療関係者など多職種であり、研修内容においては具体的な取り組みを希望することが多かった。今後は、基礎的な知識や実習に加え、実践的な内容が必要と考えられた。

発表 No.2

某歯科医師会主催による「障害児・者のための摂食嚥下研修会」について —第2報：受講後の知識について—

三田村佐智代^{1,2}，野村美奈²，鈴木哉絵²，鬼澤璃沙²，山下千春²，森永和男²，野本たかと¹
日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座¹，茨城県身体障害者小児歯科治療センター²

【緒言】

当センターでは摂食嚥下研修会を平成24年度より3年間開催してきた。研修会の内容および受講者の知識の習得について検討することを目的に受講者の知識について調査を行ったので報告する。

【方法】

平成24年度から平成26年度までの3年間の受講者375名に対して、無記名、自記式の質問票を第1回の受講前（以下、事前）と最終会の受講後（以下、事後）に配布し回収する方法とした。調査項目は属性および摂食嚥下に関する知識とした。摂食嚥下に関する知識の項目は「生理機能」、「身体の危険性」、「診査診断法」、「介助・訓練法」が、それぞれ11項目、「解剖」、「食形態・調理法」が、それぞれ12項目とし、「説明できる」、「知っている」、「知らない」の選択回答とした。

【結果】

有効回答率は48.2%（181名）であった。回答者の属性は教諭が最も多く26.5%であった。事前において、「説明できる」と回答したものが最も少なかったのは「診査診断法」24.2%であった。事後については、「診査診断法」のみ43.9%であり、その他の項目は約7割の者が「説明できる」と回答していた。

【考察およびまとめ】

すべての調査項目において、事後において「説明できる」と回答した者が増加したことは、知識の習得に効果があったと考えられる。しかし、より専門的な項目では増加が少なく、今後は具体的な事例や実習を含め取り組む必要があると思われた。

発表 No.3

Questionnaire on satisfaction of outpatients

Hiroshi Sekiguchi, Chiharu Yamashita, Masako Kaneko, Yuko Takahashi, Risa Onizawa,
Kanae Suzuki, Mina Nomura, Kazuo Morinaga
Ibaraki Dental Association's Mito Oral Health Center

【Aim】

We administered a questionnaire to outpatients, their parents of Mito Oral Health Center of Persons with Disabilities. This questionnaire gathered information on interactions with staff and care provided by staff, medical and dental treatment, and the institution. Our aim was to use the results to improve the quality of our services.

【Method】

Participants in this study were 400 people including outpatients and their parents who visited the center from October 15 to November 17, 2014, as well as center staff. We explained the purpose of this study, and if they consented to participate we handed them the questionnaire. The questionnaire was collected on the same day or returned to the center by mail later. Of 400 questionnaires, 376 were returned for a collection of 94.0%. The questionnaire consisted of 17 items as listed below. With the exception of items 1, 2, and 16, answers were given on a scale 3 to 1 as follows beginning with 3: satisfied, ordinary, or dissatisfied. We scored each answer except for Items No. 1, 2, and 16, and calculated the average. We sorted the items in the order of the score, and evaluated them. We asked the reason when “dissatisfied” was selected.

- Q 1 . Information on the person who filled out this questionnaire.
- Q 2 . Time from the first visit to the center to the present.
- Q 3 . Duration of wait from your reception to the beginning of dental treatment.
- Q 4 . Attitude and performance of the reception staff.
- Q 5 Staff's performance on the phone.
- Q 6 . Attitude and performance of the dentist in charge.
- Q 7 . Attitude and performance of the dental hygienist.
- Q 8 . Satisfaction and sense of security regarding dental treatment.
- Q 9 . Explanation of the treatment.
- Q10. Duration of wait from the end of treatment to payment.
- Q11. Interval to the next visit.
- Q12. dental consultation fee.
- Q13. Environment of the treatment room.
- Q14. Environment of the waiting room.
- Q15. Environment of the parking lot.
- Q16. Do you hope to transfer to another dental office?
- Q17. Total satisfaction with our center.

【Results】

- 1 . More than 80% of those who completed this questionnaire were family members. When we deal with a patient, we have to care for not only the patient but also family members at the same time.
- 2 . More than 50% of the participating patients have been visiting our center for over 6 years since their first visit. The number of new patients is also increasing.
- 3 . Although more than 80% of respondents were “very satisfied” or “satisfied” with the attitude and performance of the staff, there are some responses indicating “a little dissatisfied” and “dissatisfied.” It is necessary that in the future dentists, dental hygienists, and reception staff

be more sensitive to their needs.

4. More than 80% of respondents were satisfied related to “satisfaction and sense of security regarding the dental treatment” and “explanation of the treatment.” On the other hand, there was some dissatisfaction about the interval between medical treatments and the medical consultation fee.
5. More than 80% were satisfied with the environment of the treatment room and the waiting room. However, there was some dissatisfaction with the environment of the parking lot. The reason was the small parking space for wheelchair users. We plan to deal with this problem immediately.
6. According to the question about the hope to transfer to another dental office, more than 90% hoped to keep visiting our center. However, about 10% did hope to transfer. We have to make a cooperative relationship with local dental and medical organizations. More than 90% answered “very satisfied” or “satisfied” to the question on total satisfaction. No response indicated dissatisfaction.

【Conclusion】

We have to improve our dental service when outpatients express dissatisfaction. We must always respond to their needs or requests and discuss among themselves what can be done.

発表 No4

当センター受診者の満足度および要望に関するアンケート調査

山下千春, 金子雅子, 高橋裕子, 関口 浩, 野村美奈, 鈴木哉絵, 鬼澤璃沙
村居幸夫, 征矢 亘, 森永和男
茨城県身体障害者小児歯科治療センター

【緒言】

本調査は、茨城県身体障害者小児歯科治療センターに通院する患児・者あるいは家族、施設職員を対象に
対応・診療・施設などについての満足度および要望に関してアンケート調査を行い、その結果をセンター運
営の改善資料として活用し、さらなる質的向上に役立てることを目的に実施した（臨床研究番号：
150007）。

【対象および方法】

調査対象は平成26年10月15日から11月17日までの約1か月間に当センターに来院した障害児・者および
健常児の家族、本人あるいは施設職員である。これら対象者に対して調査の目的を説明し同意が得られた方
にアンケート用紙を手渡し、即日回答したものを回収または後日郵送にて回収を行った。調査項目はアン
ケートの記入者、当センターの初来院から現在までの通院期間、受付から診察開始までの待ち時間、受付職
員の対応や態度、電話でのスタッフの対応、担当歯科医師の対応や態度、歯科衛生士の対応や態度、診療
に対しての安心感や満足感、診療内容についての説明、診療終了から会計までの待ち時間、次の診療までの
診療間隔、診療費、診療室の環境、待合室の環境、駐車場の環境、今後近隣歯科医院への転院を希望、当セ
ンターの総合的な満足度の17項目である。回答方法は満足、普通、不満足の三肢択一形式とした。また不
満足を選択した場合はその選択理由を記述してもらった。

【結果】

対象者400名中376名から回答を得られ、回収率は94.0%であった。調査用紙記入者は家族が88.0%で
あった。通院期間は6年以上が53.2%と最も多く、1年以上6年未満は30.1%、1年未満は16.7%であった。
満足度が高い項目は「歯科衛生士の対応・態度」が88.0%、「受付の対応・態度」85.9%、「診療室の環境」
85.4%、「歯科医師の対応・態度」85.2%、「診療に対しての安心感・満足感」84.3%、「診療内容の説
明」81.9%であった。「電話の対応」は79.8%、「待合室の環境」78.5%、「診療終了から会計までの待ち
時間」74.4%、「診療費」は72.4%が満足と回答した。「今後近隣の歯科医院への転院を希望」の項目では、
95.7%の患者が継続受診を希望していた。当センターの総合的な満足度は、「満足」が全体の90.5%であ
った。他方、「駐車場の環境」は68.5%、「診療開始までの待ち時間」は66.1%、「次回診療までの診療間
隔」は66.0%であった。

【考察および結論】

対応について8割以上が「満足」という意見だが、「不満足」も若干あることから、今後更に歯科医師・歯
科衛生士・受付職員がそれぞれの立場で誠意ある態度で望むことが求められる。診療に対しての安心感や満

足度、説明に対して8割以上が満足を感じているが、診療間隔や診療費では不満足の見解もあった。設備・環境については、駐車場の環境に不満を感じている意見があり、その理由は車椅子の駐車スペースが狭いため、早急に対応する必要がある。近隣歯科医院への転院希望については、9割以上が引き続き当センターへの通院を希望しているが、1割弱は近くの歯科医院を希望している。今後、地域医療機関と協力体制の構築を推進し、連携を深めていく必要がある。

総合的な満足度は、9割以上が満足の見解があり、不満の回答はなかった。しかし、それに甘んじることなく、不満を感じている来院者、意見や要望のある来院者がいる限りより良い医療サービスを提供できるよう向上していかなければならない。そのためには常に来院者の意見を真摯に受け止めるように心掛け、そして不満・意見・要望に対して私たちが何を出来るのかスタッフ間で検討し、早期改善に努めていきたい。

発表 No.5

90分間に及ぶ心停止の間、有効なACLSを行い、蘇生に成功した症例

森永 桂輔

森永歯科医院(水戸市歯科医師会)、(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸
(公社)地域医療振興会協会 石岡第一病院、富士市立中央病院

症例は、50歳男性。大腸癌の診断の下、全身麻酔下にて切除手術が行われた。術前検査（血液検査・胸部X線・心電図）において、高血圧の他に特記すべき既往はなかった。

90分という長時間、心停止の状態が継続したにも関わらず、蘇生が成功した理由は何か。それには以下の2つの理由が挙げられる。

I：有効なACLS（特に心臓マッサージ）を継続できたこと。

II：90分の心停止の間、心静止の状態は一度もなかったこと。

「心停止」とは、心臓が、生命維持に必要な心拍出量を維持できない状態のことであり、①心室細動（Vf）、②無脈性電気活動（PEA）、③心静止（asystole）の3つの状態を指す。このうち、③に関しては、リードの外れ・感度や誘導の設定など、人為的なミスを除くことができれば、蘇生の可能性はまずなく、10分間蘇生を継続しても改善がなければCPRを中止する基準となっている。しかし、心電図上、明らかに電気活動が認識できる①と②の状態が続く限り、たとえ何時間であっても決して蘇生を中断してはならない。有効な心臓マッサージによって、心臓と脳に血流を提供し続けていけば、社会復帰の可能性は大いに残っているのである。因みに有効な心臓マッサージによって、果たして血圧はどのくらい出ているのか？今回の症例では、術前に動脈ラインを確保していたので、オンタイムで心臓マッサージによる血圧を確認できる状況だったのだが、どんなに良くても収縮期血圧が90いくのがやっとであった。脳血流には、自動調節機能が備わっているが、高血圧患者の場合、平均血圧が80前後で脳は虚血に陥ってしまう。例えば血圧が90/60であれば、平均血圧は70となり、虚血の領域ぎりぎりであることから、胸骨圧迫の重要性が理解できる。また、除細動が適応となるのは、心室細動（Vf）と、無脈性心室頻拍（VT）の時のみである。

今回、90分もの長時間心停止が継続したにもかかわらず、無事に社会復帰できた症例を経験した。蘇生中は、大量輸液に対して心臓マッサージのポンプ作用だけではその供給が追いつかず、肺が水浸しになってしまうため、1回の胸骨圧迫毎に挿管チューブを介して大量の血液混じりの水が吹き出し、まさに悲惨な光景だったが、諦めずに蘇生を継続することで、患者を救うことができた。願わくはこのような経験は2度としたくはないが、いつ起こるかわからない突然の心停止に対して、知識・技術を常にアップデートさせて、準備は怠らないようにしていきたい。

発表 No.6

前歯部開咬症への取組み

大森勇市郎

大森矯正歯科クリニック（水戸市歯科医師会）

【緒言】

不正咬合のなかでも開咬症の改善は難度が高く、長期にわたる安定性を得るために様々な治療法が選択されています。成長期には筋機能療法（MFT）を含めた日常生活習慣の見直しにより、改善が期待できますが、

患者・保護者・術者に相当程度の努力を要するため、必ずしも全ての症例に十分な効果が得られるとは限りません。成人では臼歯部の削合や前歯部の歯冠修復による歯冠長の延長などのほか、矯正歯科治療がありますが、当クリニックにおける過去の開咬症治療例を検討したので報告します。

【症例】

図1は初診時年齢13歳8ヶ月女子の矯正治療単独症例。診断は「前歯部開咬を呈するSkeletal Cl. I, Ave. face, 上顎切歯がやや唇側傾斜し、舌突出癖を有する、思春期性成長後期」です。中段は診断後3ヶ月間の集中的なMFTの施行と両側下顎智歯の抜去後、マルチブラケット装着9ヵ月後です。下段は4ヵ月後の動的治療終了時です。図2によると上下顎骨の変化はほとんど見られず、上顎切歯口蓋側へのuprightにより咬合が改善していました。

図3は初診時年齢18歳6ヶ月女性の骨きり術併用症例。診断は「前歯部に著しい開咬と叢生を呈するskeletal Cl. III, 著しいlong face, 狭窄した上下顎歯列弓に負のarch length discrepancyを有する」です。中段は診断後2ヶ月間の上顎急速側方拡大と上下顎両側智歯の抜去、継続的なMFTを施行し、マルチブラケット装着11ヵ月後・上下顎同時移動術4日前です。上下顎歯列幅径および歯列形態の調和が得られています。下段は手術5ヵ月後の動的治療終了時です。図4によると上顎の上方移動と下顎の後上方移動により、咬合と顔貌が著しく改善していました。

図5は初診時年齢39歳女性のインプラントアンカー使用症例。診断は「前歯部開咬を呈するSkeletal Cl. II, Steep Mand., long face, 両側上顎第一小臼歯抜歯済み、下顎頭の骨吸収と舌癖が強く疑われる」です。中段は診断後3ヶ月間の集中的なMFTを施行し、マルチブラケット装着・インプラントアンカー埋入後です。上下顎にリンガルアーチと上顎には付加的にパラタルアーチを装着しています。下段はインプラント埋入9ヶ月後の動的治療終了時です。図6によると上下顎大臼歯の圧下で下顎骨が反時計回りに回転し、咬合および側貌が改善していました。

【考察および結論】

開咬症の改善には、機能面でのアプローチが必須であるほか、正しい口腔機能を営むためにはバランスの取れた顎顔面形態が有利であり、そのためには骨きり術のほかインプラントアンカーによる大臼歯の圧下も選択肢の一つなることがわかりました。

発表 No7

低年齢から摂食嚥下指導を行ったダウン症候群の症例

鈴木哉絵¹, 野村美奈¹, 鬼澤璃沙¹, 山下千春¹, 金子雅子¹, 高橋裕子¹, 三田村佐智代^{1,2}

関口 浩¹, 村居幸夫¹, 征矢 亘¹, 森永和男¹

(公社) 茨城県歯科医師会 口腔センター水戸¹, 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座²

【緒言】

ダウン症候群では、全身の低緊張などにより開口、舌突出、丸のみなどの摂食嚥下機能の発達に問題をかかえている場合がある。これらの患者において早期からの介入は、発達に則した支援が行えるため、重要であると多くの報告で述べられている。そこで、当センターに来院しているダウン症候群患者2症例の経過を摂食機能発達の8段階に沿ってまとめたので報告する。

症 例 1

主 訴：ミルクを口から飲むと吐き出してしまう。

離乳食の開始時期について知りたい。

初診時年齢：9か月

主 な 障 害：ダウン症候群，心室中隔欠損，喘息。

現 病 歴：生後6か月に心室中隔欠損弁形成の手術をしている。

生後10か月まで経鼻経管栄養を使用している。

1歳2か月に僧帽弁形成術をうける。

初 診 時：経口摂取準備期

・哺乳瓶からミルクを飲むと嘔吐してしまう。

・経鼻経管栄養を使用している。

・今後の目標はペーストでの経口摂取を徐々に増やし離乳を進める。

経 過：2～3回目 嚥下機能獲得期

・1日2回ペースト食を食べている

- ・ミルクマグマグを使用している
- ・受診2回目の時に経管栄養が不要となる

(指導内容)

- ・粒のないペーストにする。
- ・1日3回経口摂取できるようにする。

4回目 捕食機能獲得期

- ・1日3回ペースト食を経口摂取している。
- ・椅子に座る事が少し安定してきている。

(指導内容)

- ・食事の時は椅子にすわるようにする。
- ・水分はスプーンからすする練習をする。

5～7回目 押しつぶし機能獲得期

- ・1日3回ペースト食を経口摂取している。
- ・食事中は椅子に座ることができる。
- ・水分をスプーンからうまくすすれない。

(指導内容)

- ・上下の唇を使い捕食をする。
- ・食形態をムース状にする。
- ・水分はスプーンからすする練習をする。

8～11回目 すりつぶし機能獲得期

- ・おせんべいは手に持ちかじることができる。
- ・歯の萌出は第一乳臼歯が上下生えそろう。
- ・保育園に通園を始める。

(指導内容)

- ・前歯でのかじり取りをする。
- ・水分はカレースプーンからすする練習をする。

12～14回目 自食準備期

- ・前歯でのかじりとりが上手になる。
- ・保育園では食具を使い自分で食べている。
- ・水分はコップからすすることができる。

(指導内容)

- ・手づかみ食べをする。
- ・水分はコップからすする練習をする。
- ・食具のグリップは太目の物を使用する。

15～25回目 食具食べ機能獲得期

- ・食具と手を一緒につかいつめ込んでしまう。
- ・好き嫌いがあり家では一度口に入れてから出す。

(指導内容)

- ・すくいやすいヨーグルトなどですくう練習をする。
- ・上下の唇をつかい捕食の練習をする。
- ・前歯でのかじり取りの練習をする。

症 例 2

主 訴：あまりかまない。

水分が上手に飲むことができない。

初診時年齢：1才3ヵ月

主 な 障 害：ダウン症候群，ウェスト症候群

現 病 歴：切迫流産があ36週目に生まれる。

6か月にて離乳食を開始する。

初 診 時：押しつぶし機能獲得期

- ・押しつぶし食を食べている。
- ・歯の萌出は上顎乳切歯乳側切歯第一乳臼歯，下顎左右乳切歯が生えている。

(指導内容)

- ・上下の唇を使い捕食の練習をする。
 - ・前歯でのかじり取りをする。
 - ・水分はスプーンからすする練習をする。
- 2回目 すりつぶし機能獲得期
- ・初診時から6か月あいてしまう。
 - ・普通食を食べている。
- (指導内容)
- ・白飯は軟らかめにする。
 - ・前歯でのかじりとりをする。
- 3回目 手づかみ食べ機能獲得期
- ・あまり噛まずに飲み込んでしまう。
 - ・自分で食べる練習を始めている。
- (指導内容)
- ・上下の唇を使い捕食をする。
 - ・一口量の練習をする。
- 4～6回目 食具食べ機能獲得期
- ・自分で食べることが増える。
 - ・白飯はあまり噛まずに飲み込んでいる。
- (指導内容)
- ・咀嚼の練習をする。
 - ・上下の唇を使い捕食をする。
- 7～10回目
- ・食具を使い自分で食べるが詰め込み食べをする。
 - ・舌で食べ物を取り込んでいる。
- (指導内容)
- ・何口か介助をして上下の唇での捕食の練習をする。

【考察および結論】

症例1では、経口摂取準備期から定期的に関わることができたため、摂食嚥下機能の発達段階に応じた指導を行う事が可能であった。そのため、食具機能獲得期においても、口腔機能は良好であり、順調な経過であった。

一方、症例2では、初診時は低年齢であったものの、2回目の受診が6か月後であり、その間に保護者の判断で普通食を摂取するようになっていた。摂食機能評価においては、すりつぶし機能は十分ではなく、あまり噛まずに丸飲みを行う傾向にあった。また、自食が重要視され、手と口の協調不全から詰め込みや一口量の増加が生じ、捕食時の舌の突出につながってしまった。つまり、早期介入であっても何らかの原因で来院できない場合には、保護者は独自の判断を行う場合があるため、受診ごとに短期目標と長期目標を明確化し、定期的な受診の必要性を説明することが重要と考えた。

発表 No8

地域における言語聴覚士の活動

磯野 敦^{1,2,3,4,5}, 関口 浩¹, 村居幸夫¹, 征矢 亘¹, 森永和男¹
 (公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸¹
 独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター²
 らいおんハート温泉言葉のデイサービス日立中央³
 らいおんハートリハビリ児童デイサービス日立大宮⁴
 常陸大宮市教育委員会⁵

【緒言】

言語聴覚士(以下ST)は小児・成人のコミュニケーション支援、聴覚障害、摂食嚥下障害などのリハビリテーションを行い小児施設、病院、介護施設、在宅医療・介護、行政、教育機関、など様々な施設に勤務しています。そのような活動の中で昨年、茨城県歯科医師会口腔センター水戸内に小児言語聴覚療法を行うための、ことばの教室が開設されました。

【ST紹介】

STは脳卒中後の失語症、高次脳機能障害、聴覚障害、認知症、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害などに起因することばによるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援し、他、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応いたします。全国では約25,000人のSTがおります。そのうち、茨城県では345名ほど在籍しております（日本言語聴覚士HPより）。

【活動】

口腔センター水戸では、小児言語治療を週1日、1回60分行い9月時点では登録人数42名となりました。障害別ではダウン症が最も多く次いで自閉症となっております。治療内容は、意思伝達手段獲得訓練や表現方法の獲得、言語理解の獲得、その他、母親指導としてお子さんとのコミュニケーション方法について行います。

【結論】

現在、行政主体で地域包括ケアシステムが行われており、障害があっても住み慣れた地域でいつまでも元気に健やかに暮らす環境づくりの為、地域住民、民生委員との連携や地域医療・介護・在宅連携を行い情報の共有を円滑にして自助、互助、共助、公助、のコミュニティが作れるように求められております。そのような状況で、昨年、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会の各団体が集結してリハビリテーション専門職協会として一つの組織を設立し、地域包括支援センターや公民館等での地域住民のセミナーやケアマネジャーとのリハビリの勉強会、地域ケア会議等の参加をしてリハビリテーションの啓発と環境づくりを支援しています。

発表 No9

障害児・者歯科研修会受講者に対するアンケート調査

関口 浩¹、大森勇市郎¹、三田村佐智代^{1,3}、森永桂輔¹、グリーンンせつ彥¹、高木伸子²
梅澤幸司^{2,3}、野村美奈¹、鈴木哉絵¹、手塚文栄²、岩崎淳也⁴、森永和男¹
(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸¹、(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター土浦²
日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座³、国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科⁴

【緒言】

茨城県歯科医師会では、障害児・者歯科医療に取り組もうと考えている歯科医師及び歯科衛生士並びに既に携わっている方を対象に、「障害児・者歯科研修会：ベーシックコース」を開催している。今回、研修会のさらなる質的向上に役立てることを目的に受講者を対象に調査を実施した。

【対象および方法】

対象は、平成27年4月より6月末の3か月間に実施された研修会に参加した歯科医師6人、歯科衛生士8人、計14人である。講義・見学・実習の3項目について実施方法・内容・理解度などをアンケート調査した。

【結果】

講義レベルはちょうど良かったが57.1%であった。内容を理解できたが57.1%であった。今後に役立つ内容だったが85.7%であった。テキスト・スライド・ビデオなどの教材は理解に役立った85.7%であった。今後もセンターでの研修を継続したいが90.9%であった。将来、日本障害者歯科学会の認定医を取得したいが45.5%であった。

【考察および結論】

講義については基礎的なことが多く、理解しやすい内容だった、多くの講師の専門性の高い方々を集めた講義を聞いてよかった、非常にクオリティーの高い内容だと思うなど、受講者に知識を深める機会を提供できたと考える。一方、実習・見学については、障害児・者に対する配慮や対応法および治療の流れをチェアサイドで見学できたことは、障害児・者歯科医療の理解および専門性の習得、さらに今後の診療に役立つという意見が多かった。しかし、見学期間が短く、勤務先の時間調整が大変だったという意見があり、改善すべき課題であった。

本研修会を通じて、歯科的問題を抱え、困っている県内の障害児・者の歯科医療に積極的に携わる歯科医師、歯科衛生士が一人でも多く増えて頂ければと考える。

4. 口演・ポスター発表抄録

II. 口腔センター土浦

発表 No.1

当センター受診者の満足度および要望に関する意識調査

坂巻ますみ¹, 伊藤 梓², 梅澤幸司^{1, 2}, 高木伸子¹, 丸山容子¹, 関口 浩³, 野本たかと²
村居幸夫¹, 征矢 亘¹, 森永和男¹
茨城県土浦心身障害者歯科治療センター¹, 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座²
茨城県身体障害者小児歯科治療センター³

【緒言】

茨城県土浦心身障害者歯科治療センター（以下、当センター）は平成3年に開設され、23年が経過した。その間、患者中心の医療の提供を实践すべく診療日や診療内容の変更を実施したが、地域の障害者歯科医療機関に求められている高い専門性、患者の幸福感やQOLの向上を優先した患者の主観的評価も併用した医療が提供できているか現況を正しく把握する必要があった。そこで、当センターの歯科医療サービスに対する満足度や要求を評価するために意識調査を行った。

【対象および方法】

対象は当センターに来院した患者200名であり、調査期間は平成26年12月の1か月間とした。対象者に調査用紙を配布し、無記名で記入後、直ちに回収箱に投入するか後日郵送にて回収した。本人が記入困難な場合は家族等が代筆した。調査内容は「患者情報」、「手続き・事務処理」、「職員の対応や態度」、「診療提供における満足感」、「施設的环境」についての5種類17項目である。一部自記式を除き、回答方法は「非常に満足」、「満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の五段階尺度とし、「やや不満」、「不満」を選択した場合はその理由を記載した。なお、本調査は日本障害者歯科学会倫理委員会の承認を得ている（臨床研究番号：150007）。

【結果】

- ①対象者200名のうち196名から回答を得られ、回収率は98.0%であった。調査用紙記入者は家族が89.3%であった。
- ②通院期間は6年以上が48.7%と最も多く、1年以上6年未満は32.2%、1年未満は19.1%であった。
- ③満足度が高い項目は「歯科医師の対応や態度」が94.2%、「歯科衛生士の対応や態度」、「診療に対しての安心感や満足度」が93.1%であった。「受付の対応」は88.8%、「診療内容の説明」は88.7%、「電話の対応」は87.2%、「診療終了から会計までの待ち時間」は82.9%が「非常に満足」、「満足」と回答した。
- ④「今後近隣の歯科医院への転院を希望」の項目では、98.0%の患者が継続受診を希望していた。
- ⑤当センターの総合的な満足度は、「非常に満足」、「満足」が全体の93.7%であった。他方、「待ち時間」は65.6%、「待合室の環境」は68.1%、「予約間隔」は72.9%、「駐車場の環境」は73.6%、「診療費」は77.3%、「診療室の環境」は79.4%であった。

【考察および結論】

本調査において他機関と比較し1)当センターの患者の満足度は高いが、「不満」とした回答も認められた。「待ち時間」においては待ち時間の長さが指摘され、治療内容や患者特性をより考慮する必要があると考えられた。また、「予約間隔」では「もう少し頻繁に診てほしい」との意見があり、患者の受け入れが飽和状態である現状を裏付けた。診療室や待合室、駐車場の環境については「狭い」、「自動ドアでない」、「車寄せがない、雨の日に濡れてしまう」等の意見があったが、当センターは市の保健センターの一室に設置しており、環境整備に制限があるため直ちに解決できない問題であった。また、多くの患者が当センターの継続受診を希望していたが、保護者の高齢化により遠方からの通院に不安を抱くとの意見もあり、地域との連携が重要視された。

以上の結果から当センターにおける諸問題について十分に検討を重ね、障害者歯科医療サービスへの推進が必要と考える。

【文献】

- 1) 梅澤幸司, 笹井啓史, 他: 日本大学松戸歯学部附属歯科病院特殊診療科における患者満足度調査。日大口腔科学, 30: 236-244, 2004.

窒息事故リスクの高い生徒の抽出に有用な行動項目の検討

ー特別支援学校における窒息事故予防のためのアンケート調査：第2報ー

手塚文栄^{1, 2}, 高木伸子^{1, 2}, 木村明美¹, 服部沙穂里¹, 星出てい子³, 中村 勇³
たかぎ歯科¹, 茨城県土浦心身障害者歯科治療センター², 茨城県立医療大学³

【緒言】

茨城県下の特別支援学校では、給食時におきた知的障害児の窒息死亡事故を教訓に平成25年度に全特別支援校で個別指導各校数名ずつ、教員と保護者対象の研修会を複数回行なうこととなり筆者らも協力した。その際、実践的な研修となるよう事前に教師対象に生徒の摂食機能関連行動調査を行なった。その結果、499名の生徒のうち10名が窒息事故をおこしかけていた。その生徒（「ニアミス群」と呼ぶ）とそうでない生徒（「一般群」と呼ぶ）では、捕食、食塊形成、送り込み、嚥下の機能不全行動（食べこぼし、詰め込んで食べるなど）が目立った（平成26年第1報）。今回は解析をさらに進め、窒息リスクの高い生徒を抽出するのに有効な項目や方法を探った。なお、本アンケートは本人または家族、学校に文書により説明し承諾を得て行った。本研究は、日本障害者歯科学会倫理委員会の承認を得ている（承認番号140017）。

【対象および方法】

平成25年6月に茨城県内の特殊支援学校2校の知的障害学級担任にアンケート記入を依頼した。質問は、年齢、性別、体格、障害名、言葉の有無、全般的な理解力、口腔内状況、窒息をおこしかけた経験、食べ方、口腔運動など40項目で、A4版1枚にまとめた。今回は、給食時の行動（気が散る、口につめこむ等）10項目、舌や顎等の動き4項目、齧歯数の計15項目に絞ってクロス集計を行った。そして、ニアミス群との相関係数が高い4項目についてROC曲線を描き、妥当性を検証した。

【結果】

「かきこんで食べる」、「つめこんでたべる」、「ほとんど噛まないでのみこむ」、「口の周りをぐるりとなめまわすことができない」の4項目についてのROC曲線を描くと図1のようになる。カットオフ値を2項目とすると、ニアミス群の10名全員がカバーされ、事故経験のない生徒の28%が入り、その特異度は0.283と低かった。

【考察および結論】

窒息リスクの高い生徒を抽出するために、「かきこんで食べる」、「つめこんでたべる」、「ほとんど噛まないでのみこむ」、「口の周りをぐるりとなめまわすことができない」の4項目を使用するのは有効といえる。該当項目が多いほど高リスクとなるが、2項目が該当する生徒から高リスク群とするのが解析上は妥当といえる。実際には一般群の28%が該当する。リスクの高い生徒の口腔機能向上指導を行うことは在学時だけでなく家庭内事故や卒業後の窒息死亡事故予防につながる。実際、昨年度家庭内で死亡事故が1例起こったが、この生徒は4項目とも該当していた。今年度はアンケート対象を広げ今回の結果を検証する一方、教員の意見も聞きながら生徒のQOL向上に役立つ窒息事故予防研究を続ける予定である。

自閉スペクトラム症患者の歯科治療の1例

丸山容子, 高木伸子, 坂巻ますみ, 引地美穂, 木村貴子, 石居由香, 狩野晴美
村居幸夫, 征矢 亘, 森永和男
(公社) 茨城県歯科医師会 口腔センター土浦

【緒言】

自閉スペクトラム症は、①社会的コミュニケーションおよび相互関係における持続的障害、②限定された反復する様式の行動、興味、活動の特徴があり、最近ではそれに加え感覚過敏が強いとされている。そのため、歯科治療に対しても協力を得ることが困難な場合がある。適切な行動調整を行うことにより、治療が可能となった症例を報告する。

【症例】

平成15年5月4日生 女性
初 診：平成26年7月17日（11 y 2m）
基 礎 疾 患：自閉スペクトラム症

主 訴：虫歯の治療

歯科治療の既往：4歳時に初めての歯科受診。一般歯科では受付で泣いてしまい、治療室に入室できず当センターを受診。系統的脱感作による行動調整を行ったものの、TBIおよびPMTCまでは可能であったが、治療となると、体動コントロールが難しく、家族の希望もあり、レストレイナーを使用し、抑制治療を行った。治療完了後3か月毎の定期検診に移行し、口腔ケアを継続したが、定期検診の間隔が長期になるとう蝕を認め、治療が必要になり、その都度、抑制治療を行った。

口腔内所見：右下6 C 3 左上6 C 2 左下6 C 2

治療計画：TDS法ならびに系統的脱感作、オペラント条件づけによる行動調整を行う。治療内容としては、CR充填、抜髄処置、補綴処置、口腔ケアを予定した。

治療経過：平成26年7月17日から平成27年3月11日まで10回にわたり治療を行った。初診時は、患者はバスタオルを頭からかぶり、防音用イヤーマフを装着して治療室に入室。トレーニングを行うためにまずは絵カードを中心とした行動調整を行った。その後、TSD法ならびに系統的脱感作、オペラント条件づけ等の行動調整を行い、ブラッシング、PMTC、バキュームを受け入れることができ、タービンの音を受け入れることができるようになった。治療に際して痛みを供わないう蝕を治療することからはじめた。毎回治療の前には、TSD法による行動調整を行い、ブラッシング、PMTCを行い、治療への導入を行った。治療中はタオルでの目隠しとイヤーマフを外すことはなかったが、治療回数が進むにつれ、治療を受け入れるまでの時間は短縮された。その日の治療内容を説明した。

【考察およびまとめ】

以前は、レストレイナーによる抑制下で治療を行っていた。今回は、未来院の間に患者が成長し周りの状況を理解できるようになったことと、適切な行動調整を行ったことにより、抑制なしで治療することができた。

定期検診の重要性を理解してもらい、今後も抑制なしに、定期検診、口腔ケア、高濃度フッ素塗布、カリエスの早期処置を行っていく予定である。保護者に、家庭での間食の内容・とり方について指導した。また、本人によるブラッシングが確実になるまで声掛けをお願いした。

平成17年から平成25年の9年間に当センターに来院した初診及び再初診の患者の37.0%は、自閉スペクトラム症であった。これからも患者にとってより良い治療が行うための適切な行動調整ができるよう努力していきたい。

5. 講演会・研修会

I. 口腔センター水戸

1) 茨城県歯科医師会主催／講演会・研修会

(1) 障害児・者歯科講演会

No.	題 名	演 者	参加人数	開催年月日
1	発達障害の理解と発達を促す関わり方	岩崎 淳也	116人	平成27年 6月7日
2	「スペクトラム」としての発達障害	岩崎 淳也	154人	平成28年 3月6日

(2) 障害児・者歯科研修会：ベーシックコース

No.	内 容	演 者	参加人数	開催年月日
1	講義・実習・見学	水戸・土浦 スタッフ	14人	平成27年 4月5日～ 6月30日

(3) 摂食嚥下研修会

No.	内 容	演 者	参加人数	開催年月日
1	講義 食べるための構造とメカニズム	三田村佐智代	108人	平成27年
2	講義 哺乳・離乳期の発達とその障害		101人	6月24日
3	講義 自食機能の発達とその障害		92人	7月22日
4	実習 摂食嚥下機能訓練の実際① 間接訓練		86人	8月26日
5	実習 摂食嚥下機能訓練の実際② 直接訓練		79人	9月30日
6	講義・ディスカッション 摂食嚥下機能障害への対応 ～各障害における摂食指導の実際～ 摂食嚥下機能評価の方法、事例検討（参加型）		79人	10月28日 12月7日

2) 地域での講演・指導

(1) 茨城県教育委員会主催／茨城県特別支援学校強化事業

No.	題 名	演 者	開催場所	開催年月日
1	実践研究1回 内容：児童生徒の食べる機能の実際把握と支援方法 ・給食指導及びケースカンファレンス ・地域在住の幼児児童生徒及び保護者からの食べる機能に対する相談対応	野村 美奈	茨城県立境特別 支援学校	平成27年 7月3日
2 3	実践研究2～5回 内容：児童生徒の食べる機能の実際把握と支援方法 ・給食指導及びケースカンファレンス ・地域在住の幼児児童生徒及び保護者からの食べる機能に対する相談対応	野村 美奈 鈴木 哉絵		平成27年 9月24日 11月20日
1	県西地区こどもの発達サポート研修会 食べる機能を育てるために ～食べる機能の発達とその障害～ ・学校職員向けの研修会	野村 美奈	下妻市民文化会館	平成27年 8月21日

(2) 茨城県特別支援学校主催／研修会

No.	題 名	演 者	開催場所	開催年月日
1	安全に楽しく食事をするために ～食事（摂食・嚥下）に関する研修会と実習～ ・保護者及び関係者向けの講義 ・学校職員向けの講義・実習	野村 美奈 (実習補助) 鈴木 哉絵	県立水戸特別支援学校	平成27年 5月22日
2	食べる機能に障害のある子どもへの支援 ～食事（摂食・嚥下）に関する研修会～ ・学校職員向けの研修会 ・給食指導およびケースカンファレンス、相談業務	野村 美奈	県立常陸太田特別支援学校	平成28年 1月28日

(3) 療育施設主催／講演会

No.	題 名	演 者	開催場所	開催年月日
1	食事に関する専門性の向上のための職員への研修会 ・食べることにに関する相談業務 内容：保護者から食べることにに関する相談業務 職員・保育士とのケースカンファレンス	野村 美奈	坂東市こども発達支援センター	平成27年 4月30日
2 4	・食べることにに関する相談業務 内容：保護者から食べることにに関する相談業務 職員・保育士とのケースカンファレンス	野村 美奈 鈴木 哉絵		平成27年 7月16日 10月8日 平成28年 2月5日
1	保護者勉強会 内容：口の健康、食べることの大切さの講義 口腔ケアの実技指導 発達障害児、肢体不自由児教室	鈴木 哉絵 鬼澤 璃沙	ひたちなか市心身障害児療育訓練センター	平成28年 2月12日

5. 講演会・研修会

II. 口腔センター土浦

1) 茨城県歯科医師会主催／講演会

(1) 障害児・者歯科講演会

No.	題 名	演 者	参加人数	開催年月日
1	発達障害の理解と支援 ～精神科医にできること～	山川百合子	102人	平成28年 2月14日

2) 地域での講演・指導

No.	題 名	演 者	主 催	開催年月日
1	歯の具合が悪いときの食事	手塚 文栄	東京都江東区健康増進課	平成27年 5月22日 6月13日 10月30日 12月25日
2	噛む力を伸ばす食事と見守り方	手塚 文栄	筑西市健康増進課	平成27年 6月30日
3	噛む力を伸ばす調理方法と介助のポイント	手塚 文栄	つくば市障害福祉課	平成27年 7月10日 8月4日
4	窒息事故予防と摂食機能を伸ばす食事介助と遊び	手塚 文栄	つくば特別支援学校	平成27年 8月6日
5	嚥下食の特徴と作り方	手塚 文栄	茨城県立医療大学	平成27年 10月23日 11月16日
6	口腔ケアの目的と方法	高木 伸子	茨城県立医療大学	平成27年 12月3日
7	噛む力を促す調理のヒント	手塚 文栄 高木 伸子	茨城県水戸健康プラザ	平成28年 1月14日
8	歯科医が教える口腔ケアのポイント	高木 伸子	土浦市ケアマネージャー研究会	平成28年 1月15日
9	離乳食の進め方と摂食観察の方法	手塚 文栄	つくば市保健所	平成28年 2月19日
10	在宅における口腔ケアと栄養管理	高木 伸子	NPO法人茨城県訪問リハビリテーション協議会	平成28年 2月28日
11	噛む力を伸ばす歯科医院での支援方法	手塚 文栄	ワラジーの会 (歯科と栄養をつなぐ会)	平成28年 3月20日

6. 講演会・研修会要旨



公益社団法人 茨城県歯科医師会主催 障害児・者歯科講演会のお知らせ

『発達障害の理解と発達を促す関わり方』

- 日 時：平成27年6月7日(日) PM1:00～3:00
- 会 場：茨城県歯科医師会館 3F講堂 (水戸市見和2-292-1)
- 入 場：無料
- 医療関係者以外の方の参加も可能です。是非ご参加下さい。

講師からのメッセージ

「発達障害」は決して特別なものではなく、我々誰もが有している「個性」の延長上に存在しているものです。今回の講演ではまず、発達障害の疑似体験を通じて、各種発達障害の理解を深めていただくことを目指します。その上で、言語聴覚士の行う発達障害の評価法と訓練方法について概説し、臨床事例をご紹介します。



講師 岩崎 淳也 先生プロフィール

平成 8年 上智大学文学部哲学科卒業
 平成11年 東京都立大学人文科学研究科哲学専攻修了
 平成13年 国立障害者リハビリテーションセンター卒業
 平成13年 つくばセントラル病院 リハビリテーション科入職
 平成23年 医療専門学校 水戸メディカルカレッジ入職
 平成27年 国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科入職
 現在に至る

受講申込方法：参加申込書を下記宛にお送りください。



茨城県身体障害者小児歯科治療センター（水戸口腔センター）

FAX：029-215-2573 または TEL：029-254-4177 担当：関口 浩

※切り取らずにお送りください。

参加申込書

※6月4日までにお申込ください（一般の方は、所属・職種の欄は無記入で結構です）。

氏 名	所 属	職 種	電話・Fax番号
			Tel Fax
			Tel Fax
			Tel Fax

茨城県歯科医師会主催 研修会のご案内

～障害児・者の食べる機能を育てるために～ 摂食嚥下研修会

☆ 開催日時：平成 27 年 7 月～12 月までの 全 6 回 ※下記プログラムのとおり

☆ 開催場所：茨城県歯科医師会館 3F 講堂（水戸市見和 2-292-1）

【講 師】 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座 講師 三田村 佐智代 先生
茨城県身体障害者小児歯科治療センター 非常勤医

*** 講師プロフィール ***

日本障害者歯科学会認定医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士（歯科医師）

千葉県歯科医師会 摂食指導医
八千代・野田特別支援学校 非常勤講師（摂食）
松戸こども発達センター 摂食指導医

*** スタッフ** 茨城県身体障害者小児歯科治療センター所属歯科衛生士

【平成 27 年度プログラム】

月 日	時 間	内 容	
7月7日(火)	午後 6:20～7:50	第1回 講義	・食べるための構造とメカニズム
8月25日(火)	午後 6:20～7:50	第2回 講義	・哺乳・離乳期の発達とその障害
9月29日(火)	午後 6:20～7:50	第3回 講義	・自食機能の発達とその障害
10月27日(火)	午後 6:20～7:50	第4回 実習	・摂食嚥下機能訓練の実際 ①
11月24日(火)	午後 6:20～7:50	第5回 実習	・摂食嚥下機能訓練の実際 ②
12月6日(日)	午前 10:30～ 12:30	第6回 講義	・摂食嚥下機能障害への対応 ー各障害における摂食指導の実際ー ・摂食嚥下機能評価の方法
	午後 13:30～ 15:30	ディスカッション	・事例検討(参加型)

☆ 対 象：茨城県内の障害のある者に関わる職種の方

☆ 受講申し込み方法：裏面の申込書にて、一人一枚ずつお申し込みください

* 問い合わせ先 * 茨城県歯科医師会館内
茨城県身体障害者小児歯科治療センター（水戸口腔センター）
◎FAX:029-215-2573 または TEL:029-254-4177



公益社団法人 茨城県歯科医師会主催



裏面あり

『障害児・者歯科研修会：ベーシックコース』のご案内

茨城県歯科医師会は、平成27年度の新規事業として「障害児・者歯科研修会」を開催致します。この研修会は、地域に暮らす障害のある人たちが安心して、より質の高い治療を受けていただけるようにするために、歯科的健康を守ることを目指す歯科医師および歯科衛生士の育成を目的に行うものです。

今回は、これから障害児・者歯科診療に取り組もうと考えている歯科医師および歯科衛生士ならびにすでに取り組まれている方を対象に、講義・見学・実習を通して基本的な知識・技能・態度を習得し、明日の臨床に役立ていただければと考えています。障害児・者歯科診療に興味のある方のご参加をお待ちしております。

対 象 茨城県在住または在勤の歯科医師および歯科衛生士の方。

研修期間 3ヶ月（平成27年4月5日～6月30日）

研修内容 講義（2日）、見学（16時間以上）、実習（所定の項目）
※講義は2日とも必ず受講してください。受講された方のみ見学・実習に参加可能です。
※見学、実習については、受講者が研修場所として茨城県身体障害者小児歯科治療センター（水戸口腔センター）もしくは茨城県土浦心身障害者歯科治療センター（土浦歯科治療センター）または両センターを選択することができます。また見学日、実習日、時間はセンターの診療時間内で自由に決めることができます。

研修場所 講義：茨城県歯科医師会館
見学、実習：茨城県身体障害者小児歯科治療センター、茨城県土浦心身障害者歯科治療センター

受講料 無料（受講者の宿泊費、食費、交通費は受講者の負担とする）
※資料代 非会員歯科医師 35,000円(税込)
非会員歯科衛生士 15,000円(税込)
※参考図書 3,564円(税・送料込)

申込方法 専用申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込締切 平成27年2月28日(金)

定 員 歯科医師4名、歯科衛生士4名 計8名

問合せ先 茨城県身体障害者小児歯科治療センター TEL. 029 (254) 4177
問合せ受付時間：月～金 午前9:00～12:00/午後1:00～5:00

修了証 講義・見学・実習の全課程を修了された方には、茨城県歯科医師会より修了証を発行します。

講 師

氏 名	指導医・専門医・認定医資格
関 口 浩	日本障害者歯科学会認定医、日本小児歯科学会指導医、日本外傷歯学会指導医
大 森 勇 市 郎	日本障害者歯科学会認定医、日本矯正歯科学会認定医
三 田 村 佐 智 代	日本障害者歯科学会認定医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
森 永 桂 輔	日本歯科麻酔学会認定医、アメリカ心臓協会(AHA)BLSインストラクター、日本救急医学会 ICLSインストラクター
グリーンナンセツ	日本障害者歯科学会認定医、日本小児歯科学会専門医
高 木 伸 子	日本障害者歯科学会認定医、日本小児歯科学会専門医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、介護支援専門員
梅 澤 幸 司	日本障害者歯科学会指導医
野 村 美 奈	日本障害者歯科学会認定歯科衛生士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、日本歯科衛生士会認定歯科衛生士(摂食嚥下リハビリテーション)
鈴 木 哉 絵	日本障害者歯科学会認定歯科衛生士、日本歯科衛生士会認定歯科衛生士(摂食嚥下リハビリテーション)
手 塚 文 栄	管理栄養士、介護福祉士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、日本咀嚼学会健康咀嚼指導士、日本栄養士会認定在宅訪問管理栄養士
岩 崎 淳 也	言語聴覚士

「発達障害の理解と支援」 ～精神科医にできること～

- 日 時：平成28年 2月 14日（日） 13時～15時（12時30分より受付開始）
- 会 場：霞ヶ浦医療センター 講堂 土浦市下高津 2-7-14 電話 029-822-5050
- 講 師：茨城県立医療大学 医学センター 准教授 精神科医 医学博士

山川 百合子先生

*略歴

静岡市出身。東京大学理学部卒業後、民間の研究所やアメリカエール大学医学部で遺伝子の研究に従事。その後名古屋大学医学部を卒業し、精神科医になる。平成16年4月から茨城県立医療大学に着任。



*講師からのメッセージ

発達障害は複雑で一人一人が違った特徴を持ちます。それだけに周囲にはなかなか理解されず、本人も家族も悩みを抱えているのが現状です。このために発達障害がうつや対人恐怖など様々な症状に隠されてしまい、診断も治療も受けないままに引きこもっている方や自信を失っている方もいます。この講演では精神科医の視点から発達障害の特徴と対応についてお話しします。逆にたくさんの隠れているイイトコロを見つけながら、自信を回復していけるヒントになればと願っています。

- 受講料：無 料
- 関心のある方はどなたでも参加できます。是非ご参加ください。
- 申込み方法：下記申込書により 2月11日までに下記あてに、お申し込み下さい
* (公社)茨城県歯科医師会 口腔センター 土浦
◎FAX：029-822-3835 または TEL：029-826-4832

※切り取らずに、そのままFAX送信して下さい

参加申込書

(一般の方は、所属・職種は無記名で結構です。)

氏 名		所 属	
住 所		職 種	
電話番号		FAX 番号	

第24回茨城県歯科医学会 障害児・者歯科講演会



(公社) 茨城県歯科医師会主催

「スペクトラム」としての発達障害

- 日 時：平成28年 3月6日(日) 午後1時～3時
- 会 場：水戸プラザホテル(水戸市千波町2078-1)
- 講 師：岩崎 淳也 先生(国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科)
- 入 場：無料
- 医療関係者以外の方の参加も可能です。是非ご参加下さい。



(略歴)

平成8年 上智大学文学部哲学科卒業
平成11年 東京都立大学人文科学研究科哲学専攻修了
平成13年 国立障害者リハビリテーションセンター学院卒業
平成13年 つくばセントラル病院リハビリテーション科入職
平成23年 医療専門学校 水戸メディカルカレッジ入職(専任教員)
平成27年 国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科入職(専任教員)
現在に至る

(講師からのメッセージ)

「発達障害」について考える際、「健常」と「障害」をスペクトラムとして、つまりはっきりと区別できない、つながったものとして捉えることは、非常に重要だと考えます。こうした視点に立って初めて、ことが話せない、文字が読めない、コミュニケーションが苦手、授業中座ってられない、といった発達障害のお子さんが抱える問題を、身近なものとして理解することができるのではないのでしょうか。

本講演では、言語聴覚士の立場から、発達障害の概要および支援方法について、疑似体験を交えながらお話したいと思います。

- 申込み方法：下記申込書により、**3月1日(火)**までに下記あてにお申し込みください。



(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

FAX：029-215-2573 または TEL：029-254-4177

※切り取らずにそのままFAX送信してください

参加申込書

診療所名		住 所	
氏 名		職 種	
電話番号		FAX番号	

7. 口腔センター案内リーフレット

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター土浦のご案内

診療対象者

地域の歯科医療機関では対応が困難な障害のある方(小児から高齢者まで)を対象としています。

診療内容

- 1 一般歯科
歯科診療に対する不安・恐怖を乗り越えられるような対応を心がけて診療を行います。
- 2 笑気吸入鎮静法
恐怖心を和らげ、精神的にリラックスした状態で治療が受けられます。
- 3 口腔健康管理・指導
歯科衛生士による歯面清掃、歯石除去、フッ化物塗布などの専門的な口腔健康管理、また発達や機能に応じた歯みがき指導などの支援を行います。
- 4 摂食嚥下リハビリテーション
食べることが上手にできない方を対象に専門スタッフが指導を行います。

診療日と診療・予約時間・休診日

診療日	月曜～金曜
診療時間	午前9:00～12:00/午後1:00～5:00
休診日	土曜・日曜・祝日、夏季、年末年始

診療日程

診療内容	月	火	水	木	金
歯科診療	●	●	●	●	●
摂食嚥下リハビリ(月1回)				●	



お問合せ・交通のご案内

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

〒310-0911 水戸市見和2-292-1 茨城県歯科医師会館内
TEL.029(254)4177 FAX.029(215)2573
E-mail center-mito@ibasikai.or.jp



(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター土浦

〒300-0812 土浦市下高津2-7-27 土浦市保健センター内
TEL.029(822)3835 FAX.029(826)4832
E-mail t-sikacenter@song.ocn.ne.jp



水戸市見和2-292-1 TEL.029(252)2561
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

(公社)茨城県歯科医師会

口腔センターのご案内

Information Guide



(公社)茨城県歯科医師会
口腔センター水戸

(公社)茨城県歯科医師会
口腔センター土浦

障害者歯科治療センターの紹介

茨城県歯科医師会は、昭和47年から水戸市の茨城県歯科医師会館1階に茨城県身体障害者小児歯科治療センター(水戸口腔センター)を開設し、障害児・者の歯科診療と小児の予防歯科診療を行ってきました。平成3年には土浦市保健センター1階にも茨城県土浦市身体障害者歯科治療センター(土浦歯科治療センター)を開設しました。診療終了後も、リコール制(定期健診)を導入し、長期にわたる口腔衛生の向上に努めています。

平成27年7月よりセンターの名称が(公社)茨城県歯科医師会口腔センター水戸および(公社)茨城県歯科医師会口腔センター土浦に変更されました。

初めて受診する方のご利用までの流れ

- 予約**
- 必要で十分な診療時間を確保するために予約制をとっています。
 - まず、受診希望先にお電話もしくは直接センター受付で予約をお取り下さい。
 - 予約受付時間: 月曜～金曜/午前 9時～12時 午後 1時～5時
 - 口腔センター水戸 予約電話番号: 029(254)4177
 - 口腔センター土浦 予約電話番号: 029(822)3835
 - 予約の際に、名前、年齢、住所、電話番号、付き添いの有無、障害の程度などを伺います。
 - 急患の場合も、あらかじめ連絡を入れてからおいでください。
- 受診**
- 受診の日には、予約時間の15分前までに、次のものを持参してセンター受付においでください。
 - 健康保険被保険者証、福祉医療受給資格者証、療育手帳、障害者手帳、現在服用中の薬品名が判るお薬手帳・薬剤情報提供書、歯ブラシ、タオル
 - 初めての方ではできるだけ紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。
 - 受付で問診票を受け取り、必要事項を記入し、提出してお持ちください。
- 再診予約**
- 診療の継続が必要な場合、予約窓口で再診の予約をお取りします。
 - お名前をお呼びするまで待合室でお待ちください。
- 会計**
- 会計窓口で会計手続きをお済ませください。
 - 診療費、保険証、公費負担医療証をお返しします。
 - お薬の処方がある場合は、窓口でお渡しします。

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸のご案内

診療対象者

地域の歯科医療機関では対応が困難な障害のある方(小児から高齢者まで)および健康小児を対象としています。

診療内容

- 1 一般歯科・小児歯科・歯科口腔外科などの歯科診療
歯科診療に対する不安・恐怖を乗り越えられるような対応を心がけて診療を行います。
- 2 日帰り全身麻酔・静脈内鎮静法・笑気吸入鎮静法
処置回数が多く、集中治療の必要がある場合や恐怖心や不安感が強く、歯科治療が安全に行えない場合などにいたします。
- 3 口腔健康管理・指導
歯科衛生士による歯面清掃、歯石除去、フッ化物塗布などの専門的な口腔健康管理、また発達や機能に応じた歯みがきなどの支援を行います。
- 4 摂食嚥下リハビリテーション
食べることが上手にできない方を対象に専門スタッフが指導を行います。
- 5 ことばの教室
自分の気持ちを言葉で表現できなかったり、発音がしにくいなど、コミュニケーションや発声でお困りのお子さんに言語聴覚士が指導・助言を行います。

診療日と診療・予約時間・休診日

診療日	月曜～金曜
診療時間・予約時間	午前9:00～12:00/午後1:00～5:00
休診日	土曜・日曜・祝日、夏季、年末年始

診療日程

診療内容	月	火	水	木	金
歯科診療	●	●	●	●	●
摂食嚥下リハビリ	●	●	●	●	●
日帰り全身麻酔	●	●	●	●	●
静脈内鎮静	●	●	●	●	●
小児予防歯科診療				●	
ことばの教室				●	

*日帰り全身麻酔 : 午前 9時～12時
*静脈内鎮静法 : 午後 1時～3時
*小児予防歯科診療 : 午後 1時～5時

日帰り全身麻酔歯科診療の流れ

- 〈1回目: 問診・検査データの依頼〉
- ・担当歯科医が問診、口腔内診査を行い、歯科麻酔科に全身麻酔を依頼します。
 - ・全身麻酔手術には手術前1か月以内の血液検査・心電図・胸部エックス線写真の検査データが必要となります。検査データをお持ちでない方でご希望の方には検査医療機関をご紹介します。
- 〈2回目: 歯科麻酔科による問診〉
- ・検査結果に基づき、歯科麻酔科が全身麻酔適用の可否について判断致します。
 - ・保護者と患者さんに全身麻酔についての説明を行い、同意が得られた後、手術日を決定します。
- 〈3回目: 手術当日〉
- ・午前中に処置を行います。
 - ・処置終了後は覚醒の状態をみて、午後に帰宅できます。

バリアフリー

- ・診療室は歯科医師会館の1階です。
- ・障害者用駐車場があります(一部屋根付き)。
- ・駐車場から車椅子のまま診療室への入室が可能です。
- ・診療室はバリアフリー仕様です。
- ・車椅子用トイレを完備しています。



歯科診療



笑気吸入鎮静法



日帰り全身麻酔



歯みがき指導



摂食嚥下リハビリテーション



ことばの教室

平成27年4月 『ことばの教室』開設のご案内

- 指導日時：毎週水曜日／午前9時～午後5時
- 実施場所：茨城県歯科医師会館2階
- 指導者：磯野 敦 先生（言語聴覚士）
- 指導・相談料金：1,500円(税込)／1回(60分)



＊＊ 磯野 敦 先生からのメッセージ ＊＊

言語聴覚士として活動して13年目になります。今までは、病院や介護老人保健施設での勤務や養成校の教員などを経験いたしました。現在は小学校のことばの教室や保健センターでのことばの相談など小児言語治療も行っております。そのような経験を生かし、

センターでは、こどもたちの可能性や笑顔を引き出せるように楽しく支援することは勿論のこと親御さんたちと一緒に無理の無い可能な範囲での療育を考えていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

3月2日より予約受付を開始します

問合せ先 茨城県身体障害者小児歯科治療センター
TEL. 029 (254) 4177



8. センター自主勉強会

I. 口腔センター水戸

回数	題 名	担 当 者	開催年月日	
1	炎症性疾患	景山万貴子	平	4月27日
2	摂食嚥下リハビリテーション患者の症例報告	野村 美奈		5月29日
3	歯科衛生ケアプロセスの実施	鈴木 哉絵		6月24日
4	歯周病と関節リウマチ	高橋 裕子	成	7月27日
5	自閉症の僕が飛び跳ねる理由（東田直樹著）紹介	金子 雅子		8月28日
6	歯科治療に影響する薬	鬼澤 璃沙		9月28日
7	TCH コントロールについて	山下 千春	27	10月30日
8	子どもの脳と食育について	グリーンンせつる		11月25日
9	言葉の遅れのある方への対応	磯野 敦		12月21日
10	大人の発達障害	横山恵美子	平成 28 年	1月27日
11	小児在宅医療について	関口 浩		2月29日
12	学校歯科検診	大森勇市郎		3月25日

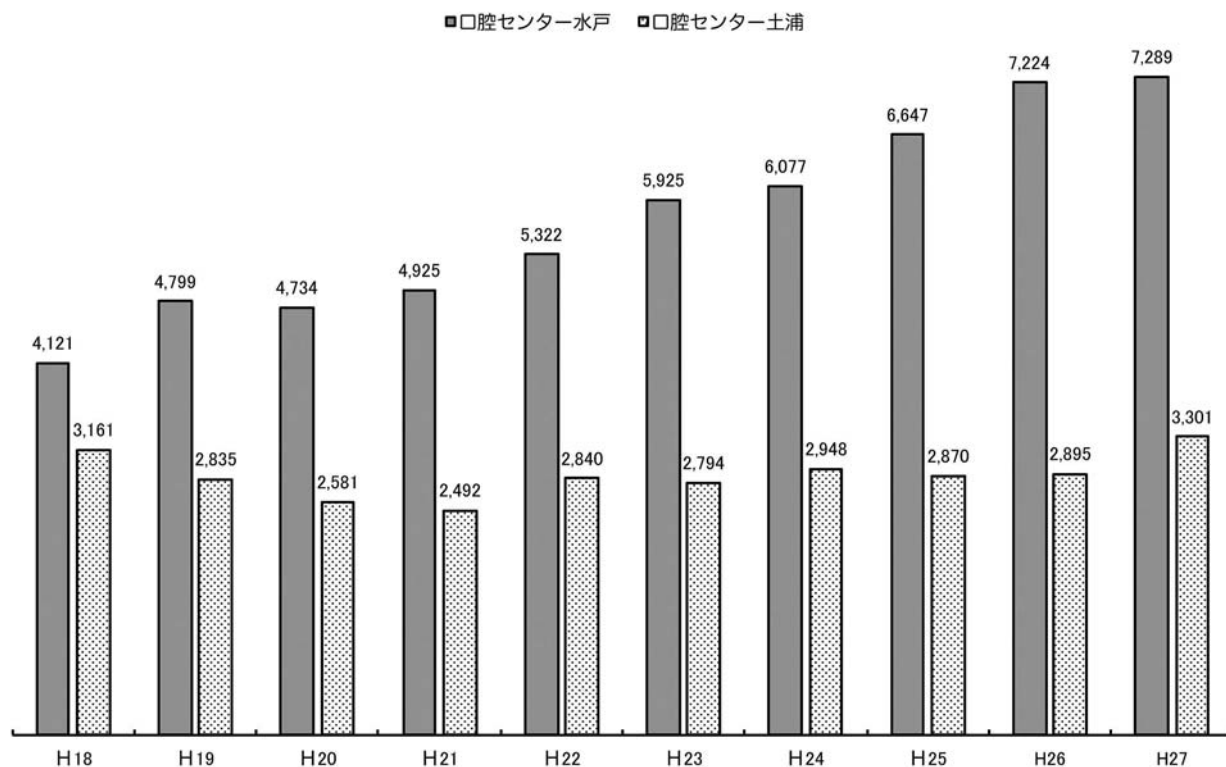
II. 口腔センター土浦

土浦摂食カンファレンス：地域多職種連携で摂食嚥下障害支援を行っていくための自主勉強会

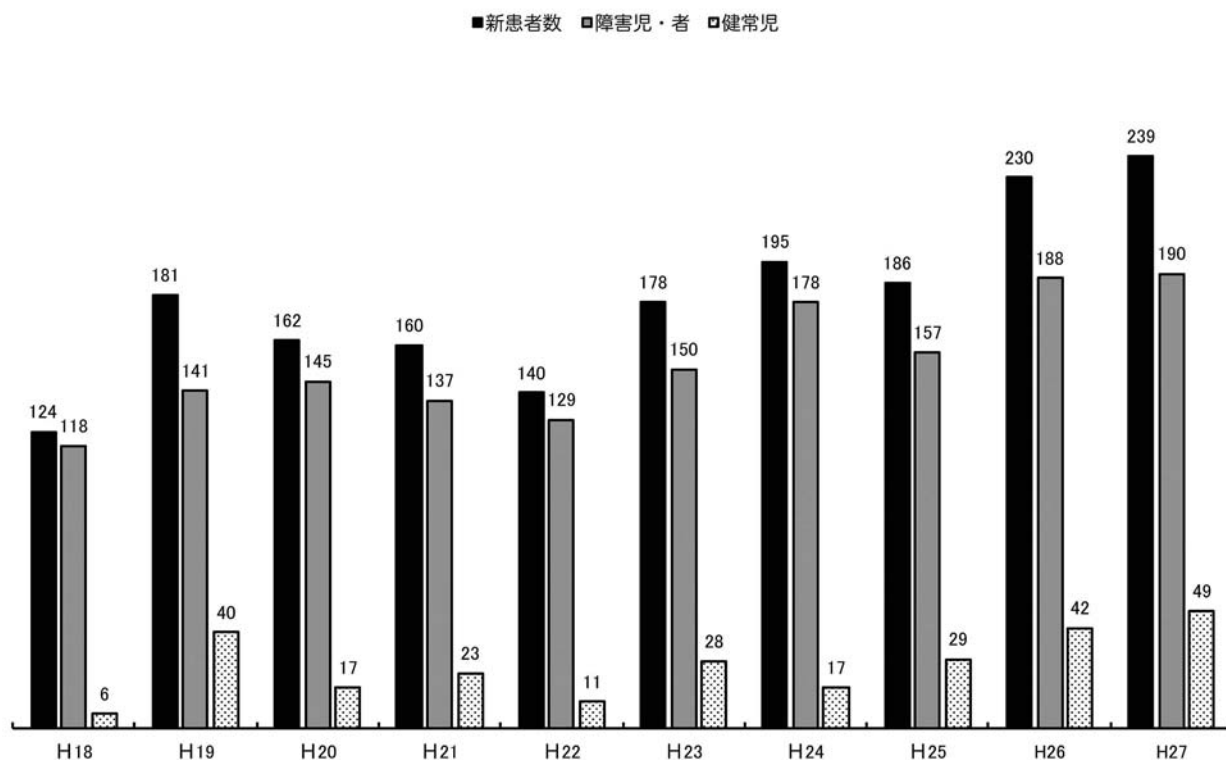
回数	題 名 ・ 講 師	開催年月日	
1	精神疾患患者と摂食嚥下障害 池田靖子（土浦厚生病院，管理栄養士） VEやVF，さらには熟練した技術さえもいない，誰でもできる摂食嚥下機能評価とその対応 市村和大（市村歯科医院 歯科医師，老年歯科医学会認定医）	平	4月10日
2	愛正会の1年 根本哲廣（愛正会記念 茨城福祉医療センター，リハビリテーション部長）		5月8日
3	小児症例検討会 症例検討：①食事時間短縮うまいかないK君 ②緊張の高さが取れてきたK君 紹介：ペースト食のチューブ注入のRちゃん 城野貴子（土浦市療育支援事業所）		6月12日
4	摂食障害をもつ小児に関連する小児科診療 渡辺章充（土浦協同病院，小児科部長）		7月10日
5	摂食嚥下リハ学会「食道疾患による嚥下障害の講演報告」 栄養改善学会「訪問看護，入浴，栄養に歯科が加わり褥瘡改善と肺炎入院ゼロを達成し，自宅で最後を迎えられた症例」 手塚文栄 摂食嚥下リハ学会「口唇圧測定器の開発」 高木伸子		10月9日
6	地区別支援学校の食事指導の工夫や調査 ①かむ力が弱い子どもの口腔機能を向上させる指導 外岡かおり（土浦特別支援学校） ②特別支援学校教員が感じる，食事指導や支援に関する課題について 星出てい子（茨城県立医療大学） ③調査から導かれた窒息事故予防に役立つ簡便スクリーニング方法 手塚文栄		11月13日
7	家庭でできる簡単ソフト食（ムース食）舌で潰せる固さ 田中粒（ふるさとホームつくば，栄養士 調理師）		12月11日
10	まひについて 安岡利一（多賀総合病院副院長）	平成 28 年	1月8日
11	ジェントルスティムの紹介 寺島尚哉（株式会社フードケア） 栄養地域連携の会 その後 秋野早苗（筑波メディカルセンター病院，管理栄養士）		3月11日

9. 患者統計・研究業績

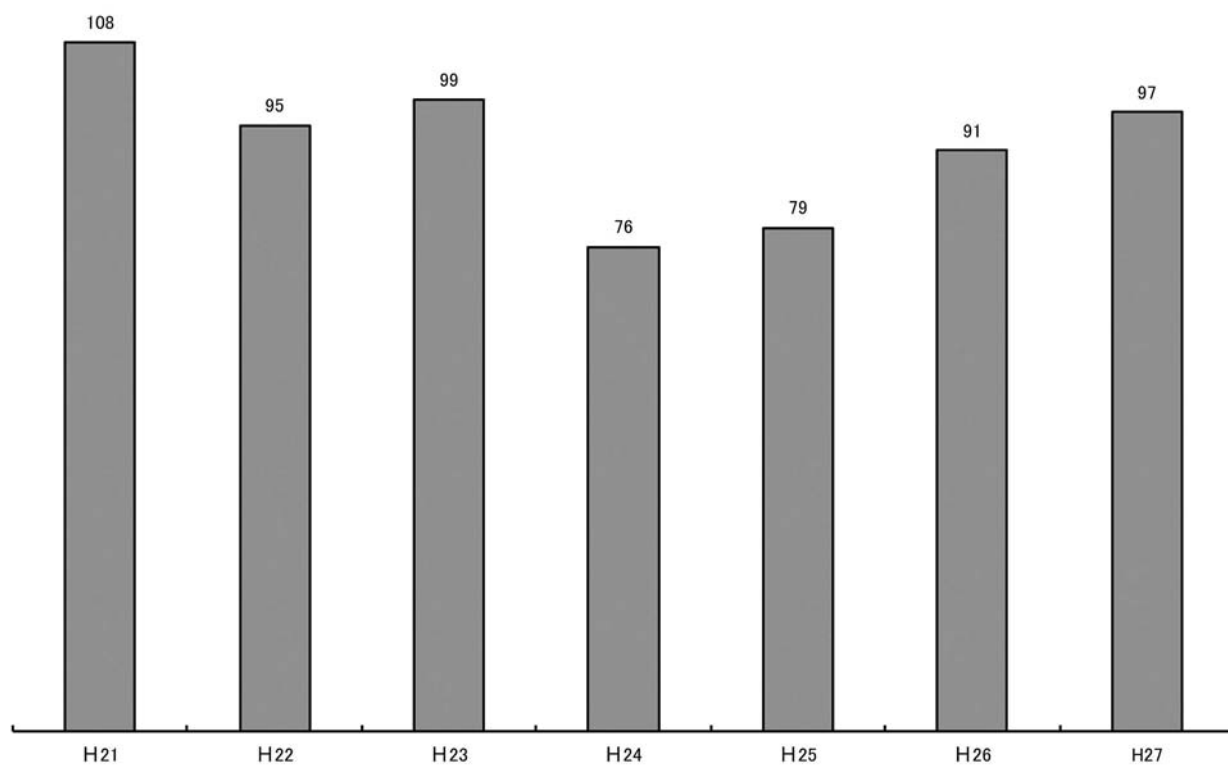
1) 口腔センター水戸および口腔センター土浦における延べ患者数の年度別推移



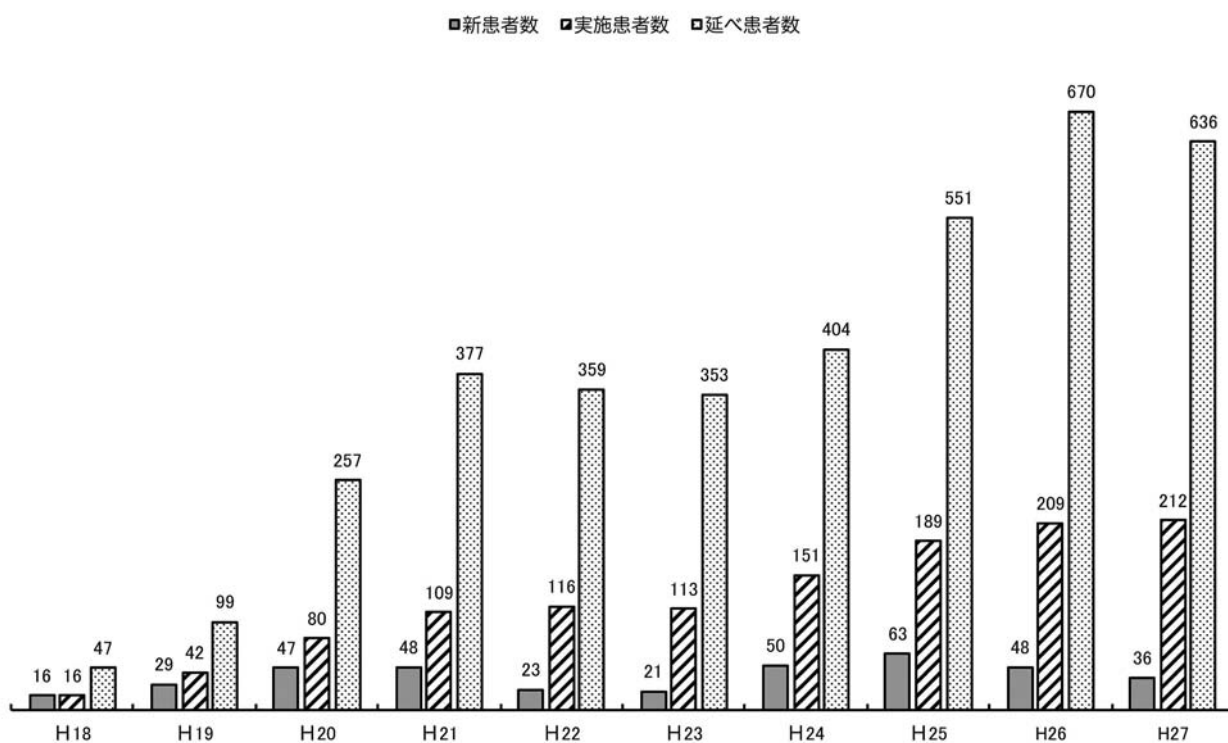
2) 口腔センター水戸における新患者数の年度別推移



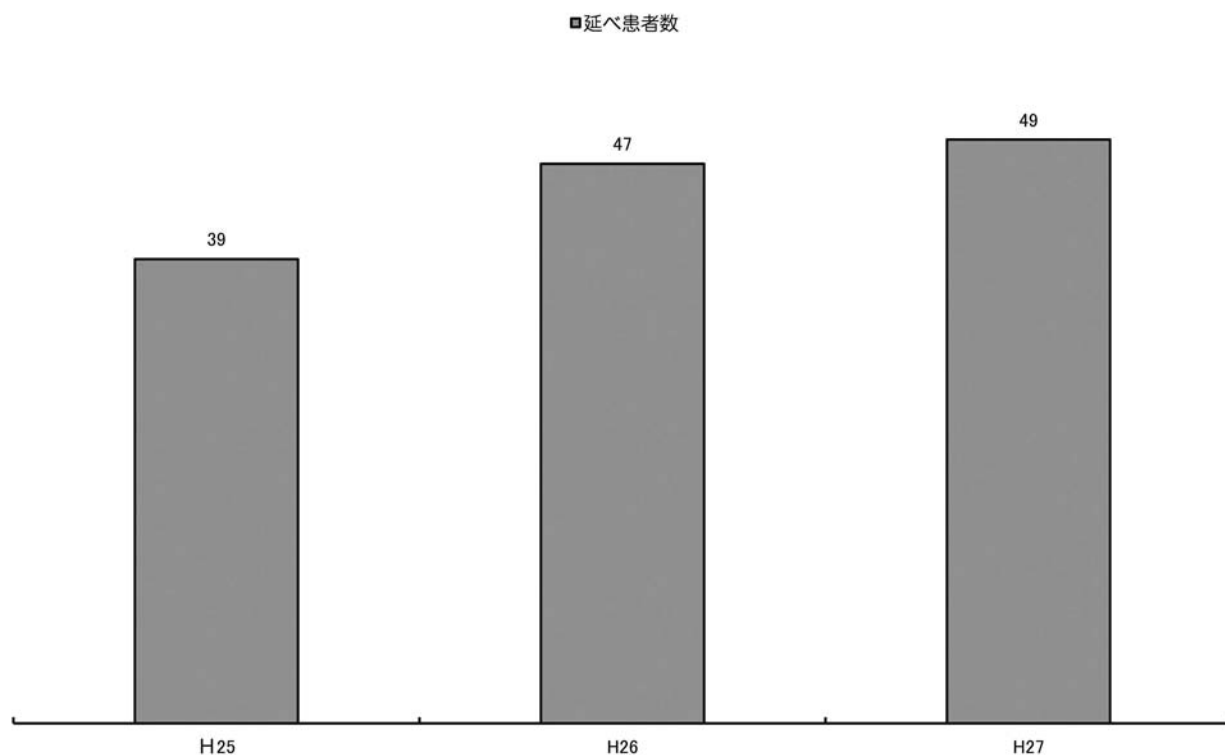
3) 口腔センター土浦における新患者数の年度別推移



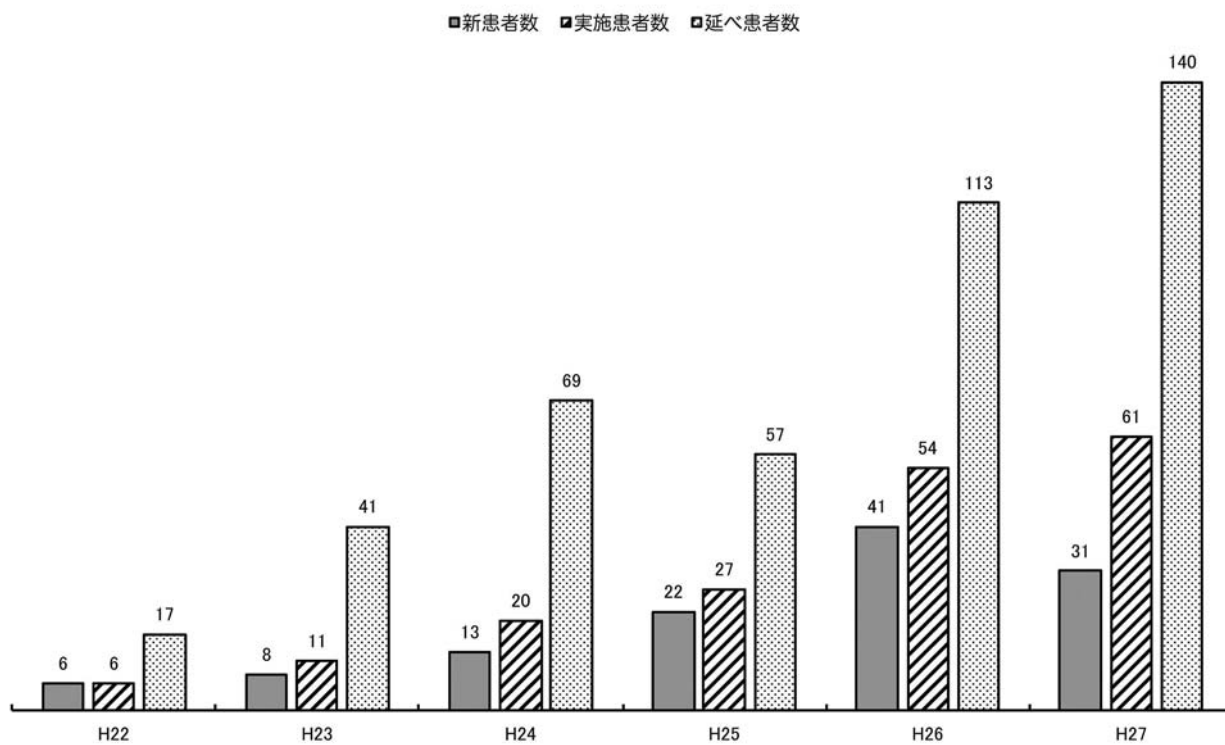
4) 口腔センター水戸における摂食嚥下リハビリテーションの新患者数・実施患者数・延べ患者数の年度別推移



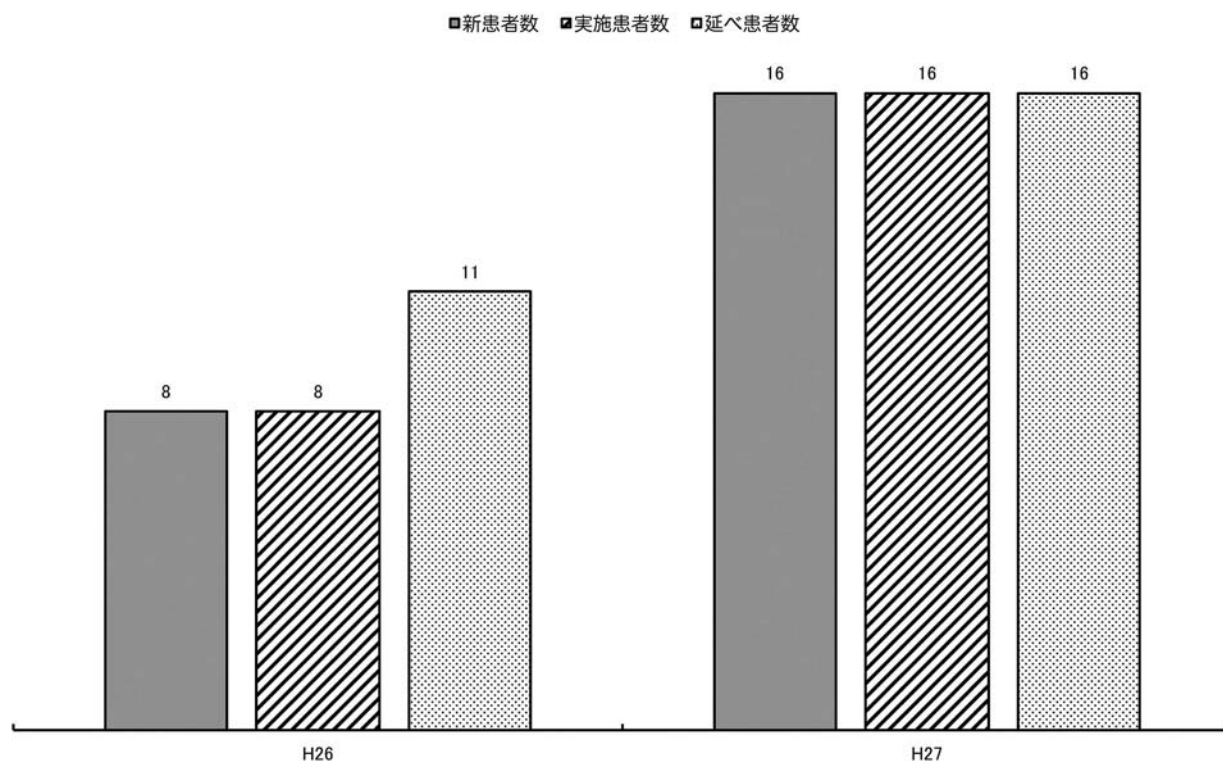
5) 口腔センター土浦における摂食嚥下リハビリテーションの延べ患者数の年度別推移



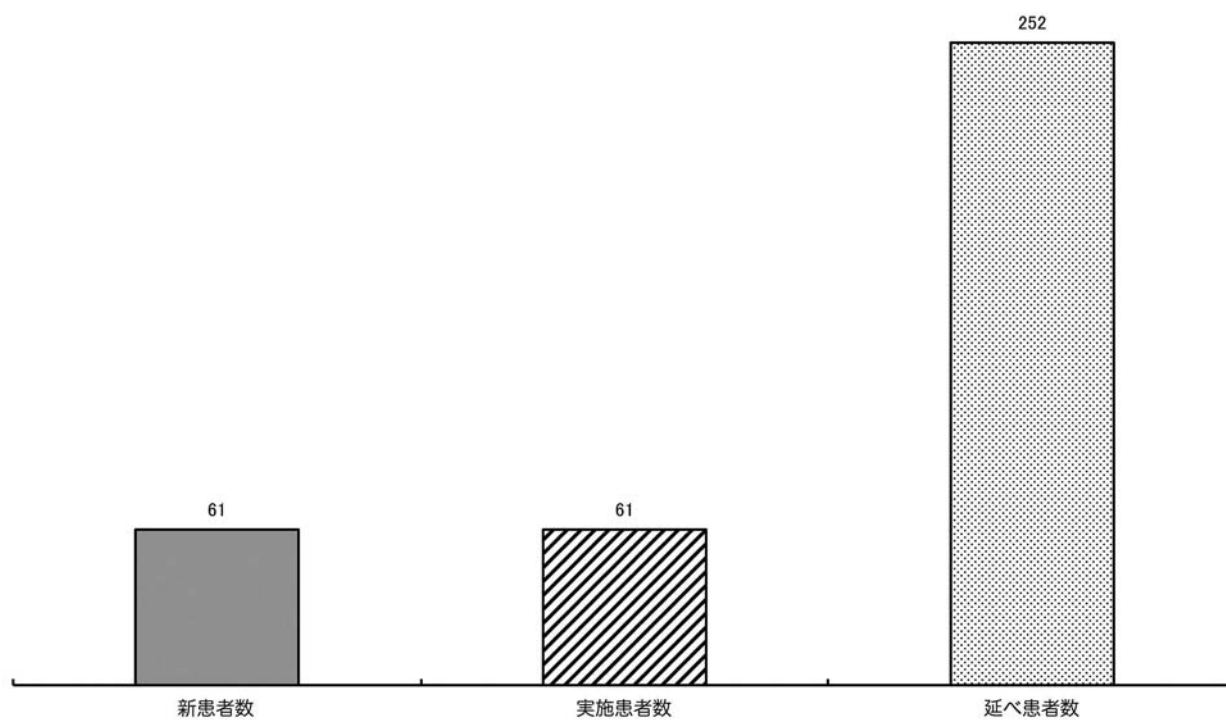
6) 口腔センター水戸における静脈内鎮静下歯科診療の新患者数・実施患者数・延べ患者数の年度別推移



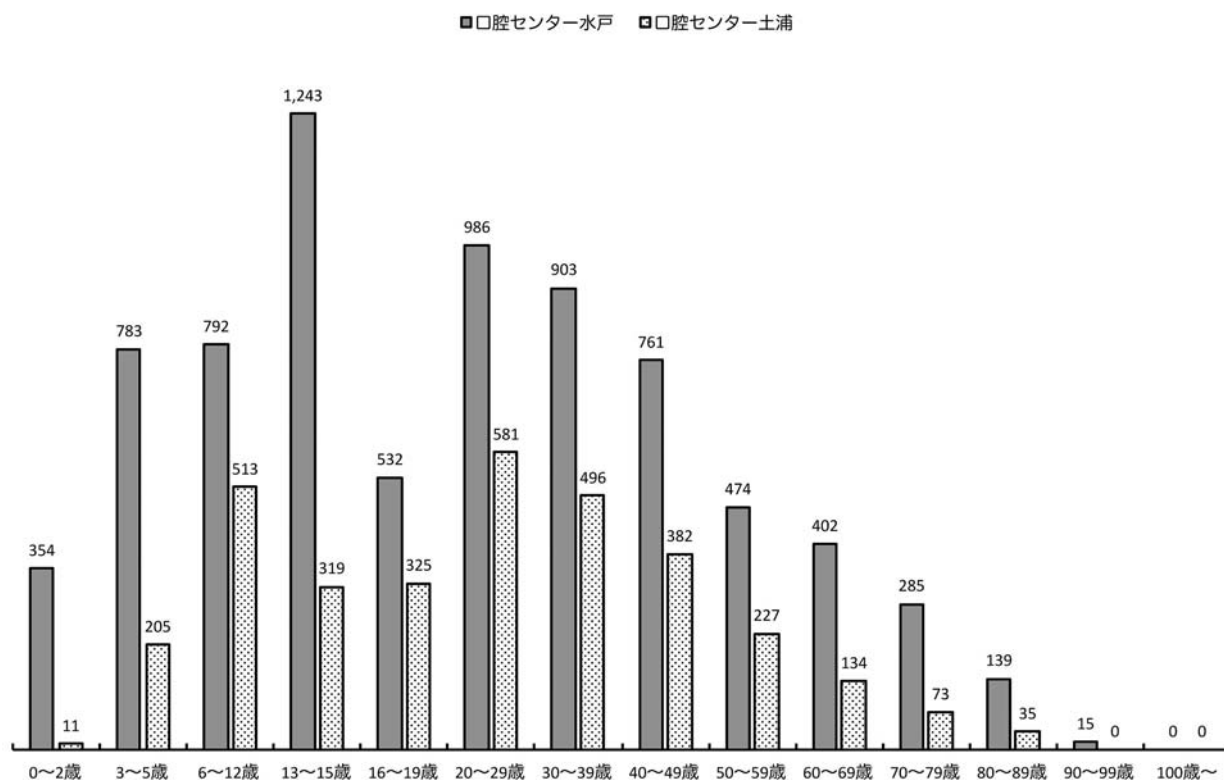
7) 口腔センター水戸における日帰り全身麻酔下歯科診療の新患者数・実施患者数・延べ患者数の年度別推移



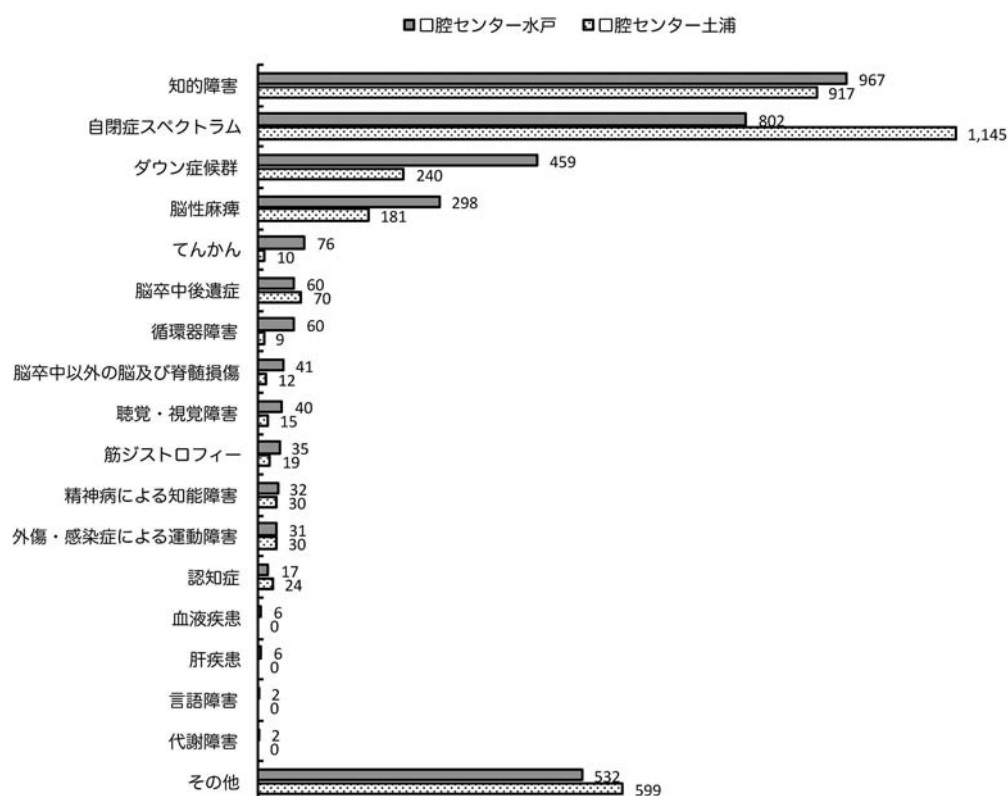
8) 口腔センター水戸における言語相談・指導の新患者数・実施患者数・延べ患者数



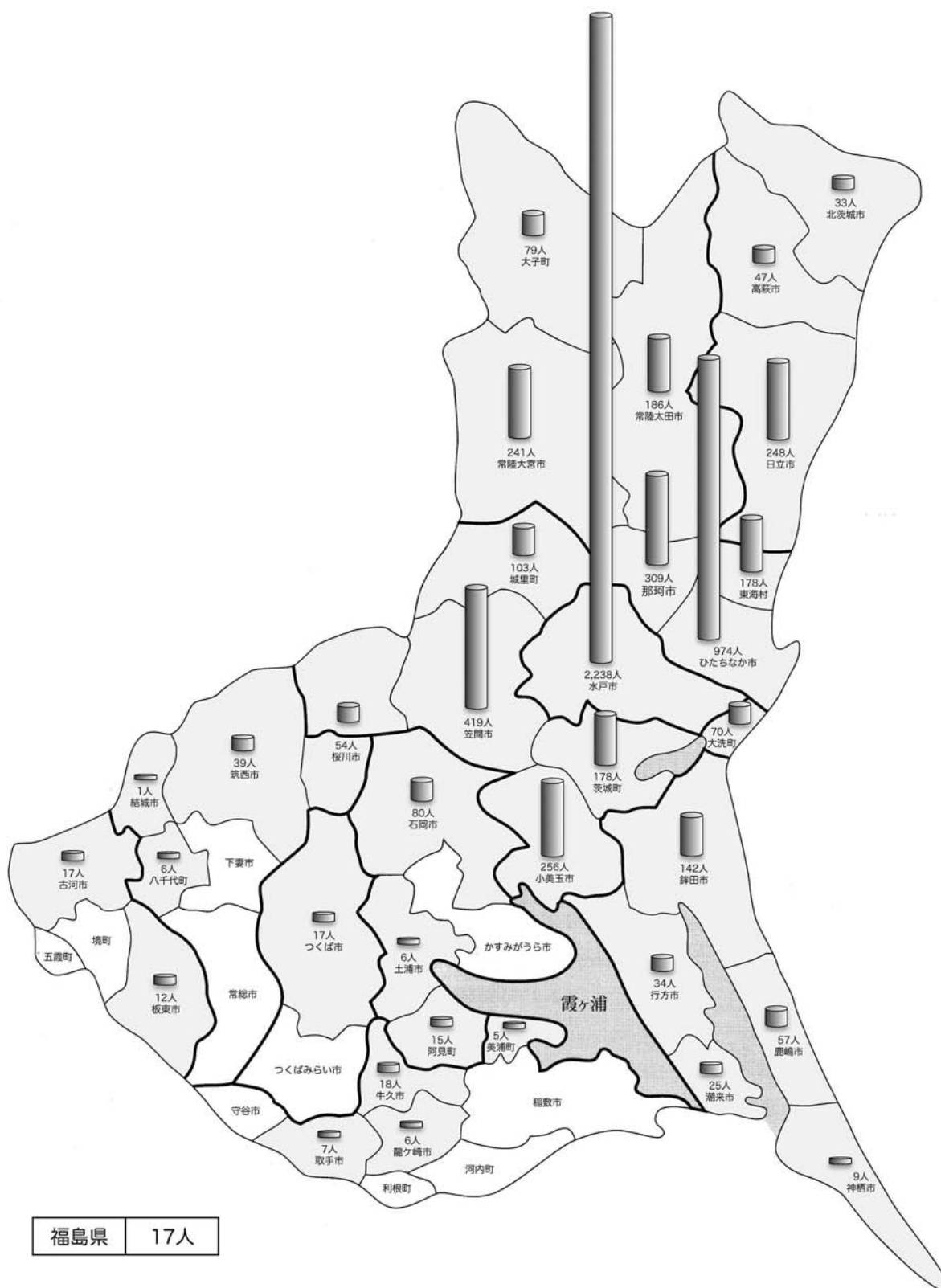
9) 口腔センター水戸および口腔センター土浦における年齢別来院患者数（平成27年度）



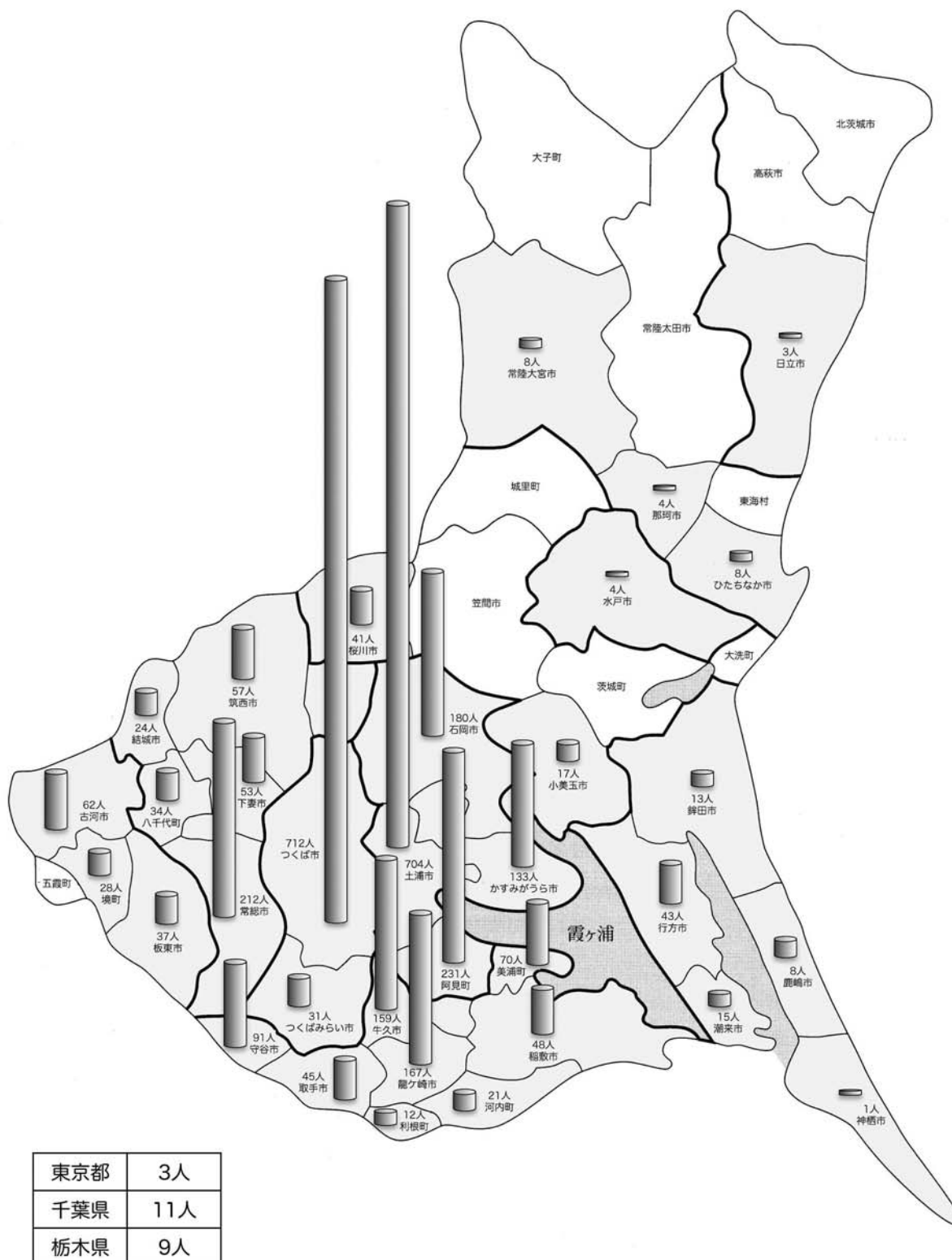
10) 口腔センター水戸および口腔センター土浦における障害名別来院患者数（平成27年度）



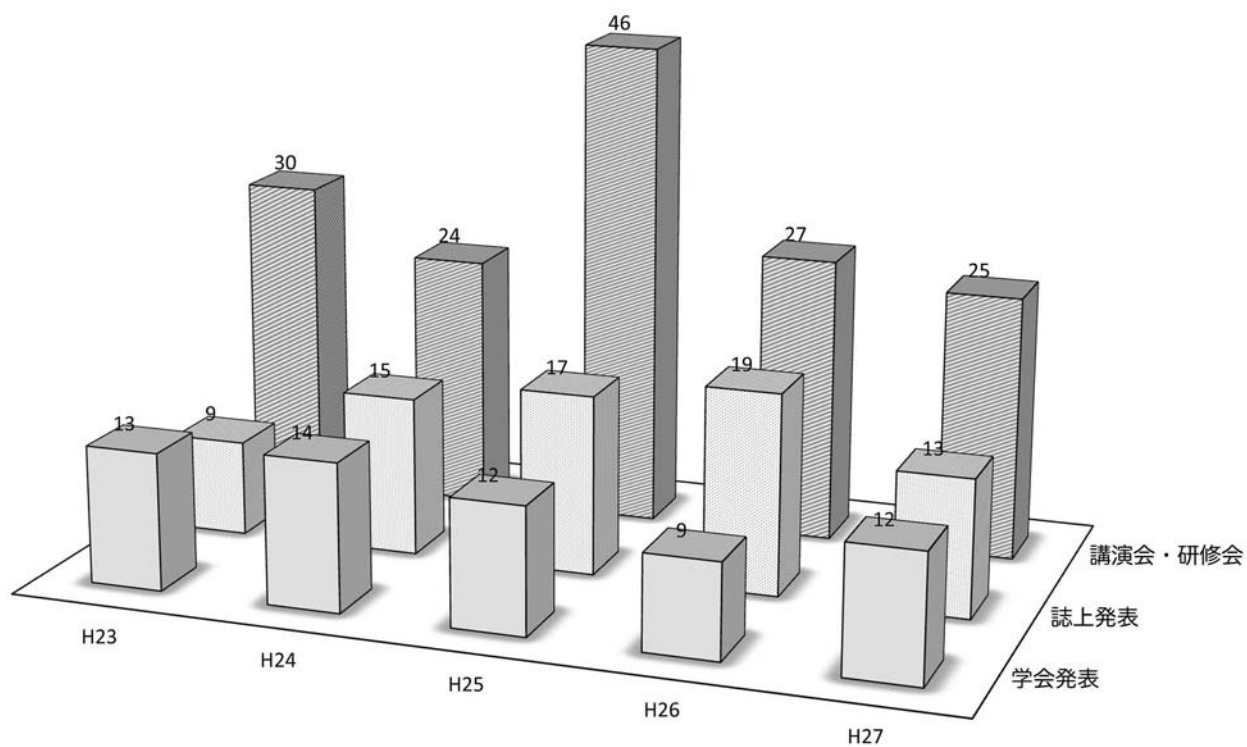
11) 口腔センター水戸における市町村別来院患者数（平成27年度）



12) 口腔センター水戸における市町村別来院患者数（平成27年度）



13) 研究業績



学会発表：口演，ポスター，シンポジウム，その他

誌上発表：原著，臨床報告，解説，単行図書，コラム，その他

講演会・研修会：茨城県歯科医師会主催，地域活動，その他

10. 写真で綴るこの1年

A. 会 議

1. 第2回水戸・土浦センター合同医局会（於：土浦霞ヶ浦医療センター）



前列左より，グリーンンせつる先生，村居幸夫口腔センター担当理事，征矢 亘専務理事，
関口 浩先生，梅澤幸司先生

二列左より，鬼澤璃沙歯科衛生士，鈴木哉絵歯科衛生士，森永桂輔先生，丸山容子先生，
高木伸子先生，坂巻ますみ歯科衛生士，山下千春歯科衛生士

三列左より，磯野 敦言語聴覚士，野村美奈歯科衛生士，大森勇市郎先生，河野直弘言語聴覚士，
手塚文栄管理栄養士，引地美穂歯科衛生士



会議風景

2. 第1回水戸・土浦センター合同医局会（於：茨城県歯科医師会館）



前列左より，高木伸子先生，大森勇市郎先生，関口 浩先生，梅澤幸司先生，丸山容子先生，
グリーンナンセつる先生

二列左より，鈴木哉絵歯科衛生士，金子雅子歯科衛生士，磯野 敦言語聴覚士，
狩野晴美歯科衛生士，横山恵美子歯科衛生士，木村貴子歯科衛生士，
引地美穂歯科衛生士，坂巻ますみ歯科衛生士

三列左より，鬼澤璃沙歯科衛生士，山下千春歯科衛生士，野村美奈歯科衛生士，森永桂輔先生，
西山めい先生，高橋裕子歯科衛生士，石居由香歯科衛生士，

B. 学 会

1. 第32回日本障害者歯科学会（於：宮城県仙台国際センター）





演者 山下千春歯科衛生士



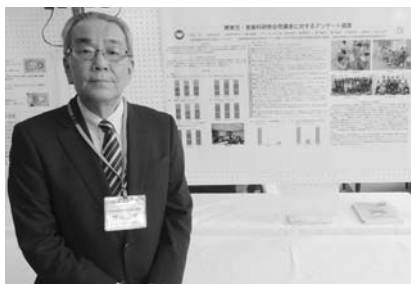
演者 坂巻ますみ歯科衛生士



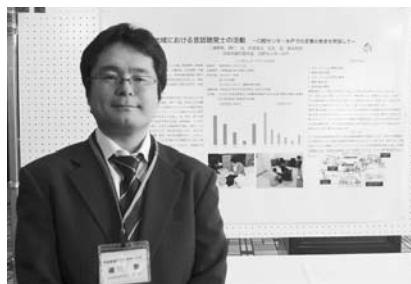
演者 手塚文栄管理栄養士

2. 第24回茨城県歯科医学会（於：水戸プラザホテル）

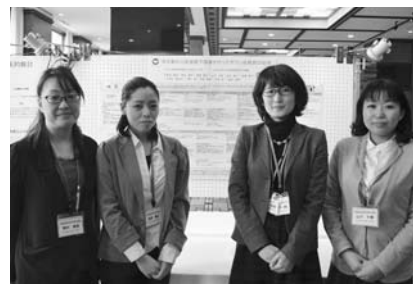
①ポスター発表



演者 関口 浩先生



演者 磯野 敦言語聴覚士



演者 鈴木哉絵歯科衛生士



演者 丸山容子先生

②口演発表



演者 森永桂輔先生



演者 大森勇市郎先生

③障害児・者歯科講演会



森永和男会長挨拶



講師 岩崎淳也先生



参加者の皆さん

3. 第6回関東障害者歯科臨床研究会（於：東京歯科大学水道橋校舎）



関東障害者歯科臨床研究会
会長 宮城 敦先生挨拶



第6回関東障害者歯科臨床研究会
実行委員長 関口 浩先生挨拶



演者 石井拓男先生



演者 緒方克也先生



演者 荒木佐代子氏

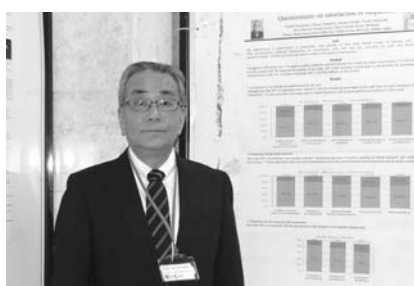


会場風景



茨城県および栃木県の大会スタッフと石井拓男先生

4. 台湾障害者歯科学会（於：台湾高雄醫學大學第一教學大樓演藝廳）

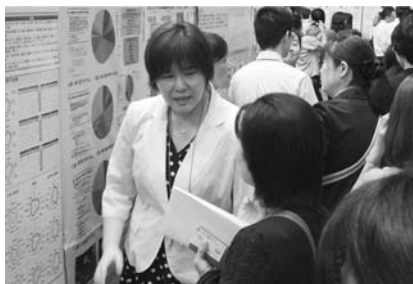


演者 関口 浩先生

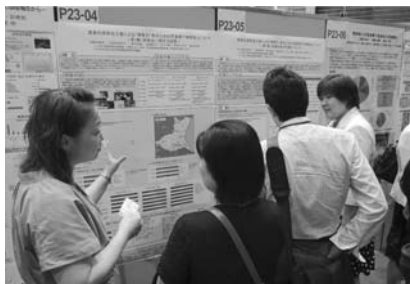


学会長 黄 純徳先生と演者

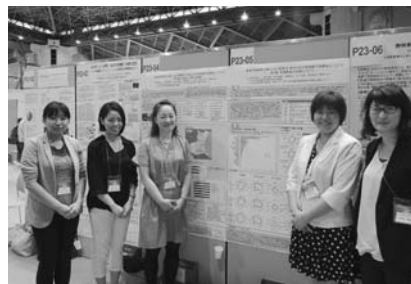
5. 第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会（於：国立京都国際会館）



演者 三田村佐智代先生



演者 野村美奈歯科衛生士



参加者一同

C. 講習会・研修会

1. 茨城県歯科医師会主催 第1回障害児・者歯科講演会（於：茨城県歯科医師会館）



森永和男会長挨拶



講師 岩崎淳也先生



参加者の皆さん

2. 茨城県歯科医師会主催 第2回障害児・者歯科講演会（於：土浦霞ヶ浦医療センター）



森永和男会長挨拶



講師 山川百合子先生



講演風景

3. 茨城県歯科医師会主催 障害児・者歯科研修会（於：茨城県歯科医師会館）



森永和男会長挨拶



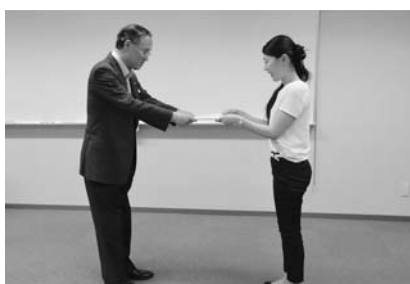
講義風景



研修者の見学実習



身体抑制具の装着体験実習



修了証の授与



研修修了者とスタッフ



研修者とスタッフ一同

4. 茨城県歯科医師会主催 摂食嚥下研修会（於：茨城県歯科医師会館）



機能訓練の実習デモンストレーション



VTR症例をみでのグループディスカッション・グループ発表



5. 茨城県特別支援学校での研修会（於：県立水戸特別支援学校）



保護者に対する講演



教員に対する直接訓練，間接訓練の指導



D. 臨 床

1. ことばの教室開設



磯野 敦言語聴覚士による指導



教室場所：茨城県歯科医師会館
2階県民相談室

2. 口腔センター土浦の臨床見学



獨協医科大学5年生の見学



筑波大学医学部5年生の見学

E. その他

①水戸・土浦センター合同歓送迎会（於：もんどころ 水戸サウスタワー店）



グリーンンせつる先生、磯野 敦言語聴覚士の歓迎会
竹中京子歯科衛生士の送別会

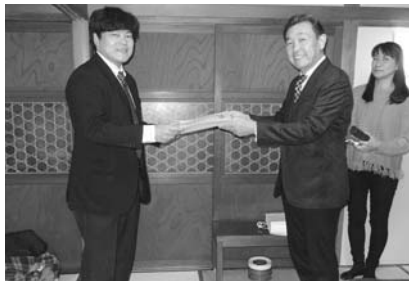


坂巻すみ歯科衛生士より
竹中京子歯科衛生士に花束の贈呈

②土浦・水戸センター合同忘年会（於：土浦・高砂）



高木伸子先生挨拶



村居幸夫先生より退任された
梅澤幸司先生へ感謝状の授与



丸山容子先生より花束の贈呈



村居幸夫先生と水戸・土浦センタースタッフおよびベーシックコース研修者

③歯科衛生士科第45期卒業生一同より水戸スタッフへ感謝の花束と寄せ書きの贈呈



④歯科衛生士科異動前の山下千春歯科衛生士とスタッフ一同



⑤口腔センター土浦の歓送迎会



地主知世先生の歓迎会・石居由香歯科衛生士の送別会

⑥口腔センター水戸の歓迎会（於：水戸・イイジマ）



横山恵美子歯科衛生士，鈴木伶菜歯科衛生士，大輪菜摘歯科衛生士の歓迎会
山下千春歯科衛生士の歯科衛生士科異動

11. 録 事

I. 口腔センター水戸

平成27年

- 4月1日 グリーナンせつゑ非常勤歯科医就任（水曜勤務）
磯野 敦非常勤言語聴覚士就任（水曜勤務）
横山恵美子非常勤歯科衛生士就任（水曜勤務）
- 4月5日 障害児・者歯科研修会：ベーシックコース講義(1)
場所：茨城県歯科医師会館3F 第1会議室
講師：関口 浩，大森勇市郎，梅澤幸司，グリーナンせつゑ，三田村佐智代，手塚文栄，岩崎淳也
参加：研修者13名（1名欠席）
時間：午前8時55分～午後4時10分
- 4月10日 茨城歯科専門学校歯科衛生士科第2学年に対する障害者歯科学講義開始
期間：4月10日～9月25日
回数：10回
時間：90分/1回（計15時間）
内容：障害者歯科総論，障害者歯科診療に応用される行動調整法，障害の種類と歯科的特徴，障害者と薬剤，障害者歯科における歯科衛生士の役割，障害者の歯科保健指導と口腔保健管理，障害者歯科におけるリスク評価と安全管理士の役割
担当：関口 浩，森永桂輔
- 4月10日 鬼澤璃沙，山下千春両歯科衛生士 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座主催の摂食嚥下研修会（第12回）出席
- 4月15日 水戸・土浦合同歓送迎会（水戸・もんどころ 水戸サウスタワー店）
- 4月19日 障害児・者歯科研修会：ベーシックコース講義(2)
場所：茨城県歯科医師会館3F 第1会議室
講師：野村美奈，梅澤幸司，森永桂輔
参加：研修者14名（欠席なし）
時間：午前10時～午後4時20分
- 4月20日 障害児・者歯科研修会：ベーシックコース見学・実習開始（6月30日まで）
- 4月27日 第39回医局会
勉強会担当：景山万貴子
課題：炎症性疾患
第29回初診患者ケースカンファレンス
担当：関口 浩
- 4月30日 こども発達センターにおける個別指導・訓練
事業：坂東市児童発達支援
期間：4月30日(木)，7月30日(木)，10月15日(木)，平成28年3月22日(月)
回数：4回
場所：坂東市こども発達センターつくし（猿島保健センター内）
講師：野村美奈，鈴木哉絵
- 5月8日 鬼澤璃沙，山下千春両歯科衛生士 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座主催の摂食嚥下研修会（第13回）出席
- 5月13日 屋代美栄言語聴覚士（らいおんハートリハビリ児童デイサービス常陸大宮）「ことばの教室」見学
- 5月18日 第8回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第9症例）
出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春
- 5月20日 平成26年度茨城県障害児・者歯科治療センター記録(4) 発刊
- 5月21日 勝村佳雄先生（水戸デンタルクリニック）センター見学
- 5月22日 茨城県立水戸特別支援学校の摂食指導研修会
場所：茨城県立水戸特別支援学校 午後1時30分～4時50分
演題：「安全な食事をするために～摂食指導の基本的な考え方や誤嚥等の危険～」
講師：野村美奈，鈴木哉絵（実習補助）
対象：保護者と教職員
- 5月25日 茨城歯科専門学校歯科衛生士科第2学年前期臨床実習開始
期間：5月25日～7月14日

- 編成：1 グループ5～6人編成で9班
回数：9回（各班とも月～金の2日間）
人数：48人
- 5月29日 第40回医局会
勉強会担当：野村美奈
課題：摂食嚥下リハビリテーション患者の症例報告
第30回初診患者ケースカンファレンス
担当：関口 浩，大森勇市郎
医療安全報告・検討会
担当：鈴木哉絵
- 6月7日 第1回 障害児・者歯科講演会
場所：茨城県歯科医師会館3F講堂
演題：「発達障害の理解と発達を促す関わり方」
講師：岩崎淳也先生（国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科）
参加：116名
- 6月7日 第1回水戸・土浦センター合同医局会
場所：茨城県歯科医師会館3F 第1会議室
出席：（水戸）関口 浩，大森勇市郎，森永桂輔，グリーンナンセつゑ，磯野 敦，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春，金子雅子，高橋裕子
（土浦）丸山容子，高木伸子，梅澤幸司，西山めい，坂巻ますみ，引地美穂，木村貴子，石居由香，狩野晴美
人見順一（歯科専門学校事務所属長）
- 6月7日 第6回関東障害者歯科臨床研究会の説明会
場所：茨城県歯科医師会館3F 第1会議室
出席：（水戸）関口 浩，大森勇市郎，グリーンナンセつゑ，磯野 敦，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春，金子雅子
（土浦）丸山容子，高木伸子，坂巻ますみ，引地美穂，竹中京子
- 6月8日 第9回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第10症例）
出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春
- 6月24日 第41回医局会
勉強会担当：鈴木哉絵
課題：歯科衛生ケアプロセスの実施
第31回初診患者ケースカンファレンス
担当：関口 浩，グリーンナンセつゑ
医療安全報告・検討会
担当：鈴木哉絵
- 6月30日 障害児・者歯科研修会：ベーシックコース見学・実習終了
- 7月1日 センター名の改称
（旧）茨城県身体障害者小児歯科治療センター
（新）（公社）茨城県歯科医師会 口腔センター水戸
（旧）茨城県土浦心身障害者歯科治療センター
（新）（公社）茨城県歯科医師会 口腔センター土浦
- 7月2日 「障害児・者歯科研修会：ベーシックコース」修了証授与式
場所：茨城県歯科医師会館3F 第1会議室
出席：森永和男会長，征矢 亘常務理事，関口 浩，研修者3名
- 7月10日 鬼澤璃沙，山下千春 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座主催の摂食嚥下研修会（第15回）出席
- 7月19日 日本障害者歯科学会 第1回摂食嚥下研修会
会場：日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
参加者：野村美奈，鈴木哉絵
- 7月26日 第6回関東障害者歯科臨床研究会
主催：関東障害者歯科臨床研究会
担当：関東障害者歯科臨床研究会茨城県幹事，栃木県幹事
後援：一般社団法人 日本障害者歯科学会
公益社団法人 茨城県歯科医師会
一般社団法人 栃木県歯科医師会

会場：東京歯科大学水道橋校舎本館13階第1講義室

テーマ：明日の地域障害者歯科医療を考える

講演：1. 石井拓男 先生（東京歯科大学副学長，社会歯科学研究室教授）

「我が国の障害者歯科医療におけるノーマライゼーション」

2. 緒方克也 先生（社会福祉法人JOY明日への息吹理事長，一般社団法人日本障害者歯科学会前理事長）

「障害者歯科とは ～障害者歯科サービスの質の向上につなげるために～」

3. 荒木佐代子 氏（茨城県肢体不自由児（者）父母の会）

「重症心身障害者の息子の成長と歯科の関わりを通して」

参加：264名

7月27日 第42回医局会

勉強会担当：高橋裕子

課題：歯周病と関節リウマチ

第32回初診患者ケースカンファレンス

担当：関口 浩

医療安全報告・検討会

担当：鈴木哉絵

7月27日 第10回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第11，12症例）

出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春

8月21日 県西地区こどもの発達サポート研修会・相談会

主催：茨城県教育委員会（主管校：協和特別支援学校）

場所：下妻市民文化会館大ホール

内容：講演「食べる機能を育てるために～食べる機能の発達と障害～」

質疑・応答

参加：取手市，守谷市，つくばみらい市，古河市，結城市，下妻市，筑西市，坂東市，桜川市，常総市，八千代町，五霞町，境町の小学校，中学校，高等学校，保育園，幼稚園，県内特別支援学校の教職員

講師：野村美奈

8月28日 第43回医局会

勉強会担当：金子雅子

課題：自閉症の僕が飛び跳ねる理由（東田直樹著）紹介

第33回初診患者ケースカンファレンス

担当：関口 浩

医療安全報告・検討会

担当：鈴木哉絵

8月31日 第11回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第13，14症例）

出席：関口 浩，森永桂輔，景山万貴子，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春

9月2日 センター案内リーフレット（2版）発行

9月3日 第1回センター運営委員会

場所：茨城県歯科医師会館会議室

9月11・12日

第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会

場所：国立京都国際会館

発表：ポスター2題

参加：三田村佐智代，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春

9月23日 第1回重症心身障害児等支援従事者研修会

「在宅支援の現状と仕組み，子供たちの成長発達にあわせて事例解説，NICUから在宅，就学と卒後，老障介護」，グループワーク「家族支援，地域支援のことを考える時間」

会場：茨城県立青少年会館

参加者：野村美奈，鈴木哉絵

9月28日 第44回医局会

勉強会担当：鬼澤璃沙

課題：歯科治療に影響する薬

第34回初診患者ケースカンファレンス

担当：関口 浩，景山万貴子

医療安全報告・検討会

- 担当：鈴木哉絵
 第11回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第15, 16症例）
 出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春
- 10月3・4日
 台湾身心障礙者口腔醫學會
 場所：高雄醫學大學第一教學大樓演藝廳
 発表：ポスター 1題
 参加：関口 浩
- 10月5日 茨城歯科専門学校歯科衛生士科第2学年後期臨床実習
 期間：10月5日～2月19日
 編成：1グループ4～5人編成で11班
 回数：11回（各班とも月・火・水・金の4日間）
 人数：48人
- 10月5日 茨城歯科技工専門学校歯科技工士科2学年のセンター歯科技工実習開始
 期間：10月5日～10月16日
 時間：9時30分～12時
 内容：見学実習
 編成：1グループ1～2人編成で5班
 回数：5回（各班とも月・木・金の1日間）
 人数：9人
- 10月9日 鬼澤璃沙，山下千春両歯科衛生士 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座主催の摂食嚥下研修会（第17回）に出席
- 10月30日 第45回医局会
 勉強会担当：山下千春
 課題：TCH コントロールについて
 第35回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩，大森勇市郎
- 10月30日 菊池香織歯科医師センター見学
- 11月6～8日
 第32回日本障害者歯科学会総会および学術大会
 会場：名古屋国際会議場
 演題：ポスター 3演題
- 11月9日 第12回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第17症例）
 出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春
- 11月10日 獨協医科大学学生5年生5名が地域保健実習のためセンター見学
- 11月13日 鬼澤璃沙，山下千春両歯科衛生士 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座主催の摂食嚥下研修会（第18回）出席
- 11月16日 第2回水戸・土浦合同医局会および第1回茨城県障害児者歯科診療推進小委員会開催
 場所：霞ヶ浦医療センター会議室
 出席：征矢 亘専務理事，村居幸夫センター担当理事
 （水戸）関口 浩，大森勇市郎，森永桂輔，景山万貴子，グリーンナンセつゑ，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春，磯野 敦，河野直弘
 （土浦）丸山容子，高木伸子，梅澤幸司，坂巻ますみ，引地美穂，木村貴子，石居由香，手塚文栄
- 11月25日 第46回医局会
 勉強会担当：グリーンナンセつゑ
 課題：子どもの脳と食育について
 第36回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩，グリーンナンセつゑ
 医療安全報告・検討会
 担当：鈴木哉絵
- 11月30日 第13回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第18症例）
 出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春
- 12月3日 茨城県歯科専門学校歯科衛生士科第3学年国家試験対策補習講義
 回数：1回
 時間：90分

- 内容：障害者歯科
担当：関口 浩
- 12月7日 水戸・土浦合同忘年会
会場：高砂（土浦）
- 12月8日 第14回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第19症例）
出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙
- 12月11日 鬼澤璃沙，山下千春両歯科衛生士 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座主催の摂食嚥下研修会（第19回）出席
- 12月12日 第2回重症心身障害児支援従事者研修会
虐待防止法を「知り・考え・防ぐ」，ワークショップ
会場：茨城県立青少年会館
参加者：鬼澤璃沙，山下千春
- 12月15日 大分県歯科医師会役員2名センター視察のため来院
- 12月21日 第47回医局会
勉強会担当：磯野 敦
課題：言葉の遅れのある方への対応
第37回初診患者ケースカンファレンス
担当：関口 浩，景山万貴子
医療安全報告・検討会
担当：鈴木哉絵
- 12月28日 仕事納め

平成28年

- 1月6日 仕事始め
- 1月6日 リリー保育福祉専門学校介護福祉学科第2学年に対する摂食嚥下についての講義
担当：野村美奈
- 1月15日 鬼澤璃沙，山下千春両歯科衛生士 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座主催の摂食嚥下研修会（第20回）出席
- 1月18日 第15回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第20，21症例）
出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春
- 1月27日 第48回医局会
勉強会担当：横山恵美子
課題：大人の発達障害
第38回初診患者ケースカンファレンス
担当：関口 浩，グリーンナンセつゑ
医療安全報告・検討会
担当：鈴木哉絵
- 1月28日 茨城県立常陸太田特別支援学校における講演
対象：茨城県立常陸太田特別支援学校教職員
演題：食べる機能に障害がある子供への支援
講師：野村奈美
- 2月4・5日 大成女子高等学校第1年学生2名が職場体験のためセンター見学
- 2月8日 第16回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第22，23症例）
出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，山下千春
- 2月10日 第2回センター運営委員会
場所：茨城県歯科医師会館会議室
- 2月10日 筑波大学医学群医学類第5年次学生6名が社会医学実習のためセンター見学
- 2月11日 第4回北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会
会場：国際福祉大学
参加者：野村美奈，鈴木哉絵
- 2月12日 心身障害児療育訓練センターにおける保護者勉強会
対象：心身障害児療育訓練センターに通所している幼児および保護者
場所：ひたちなか市総合福祉センター
心身障害児療育訓練センター野蒜教室・かなりや教室

- 内容： かなりや教室
 講話 保護者のみ 「歯の健康について」 講師：鬼澤璃沙
 実技 親子 「歯磨き指導」 講師：鈴木哉絵，鬼澤璃沙
野蒜教室
 講話 保護者のみ 「咀嚼について」 講師：鈴木哉絵
 実技 親子 「歯磨き指導」 講師：鈴木哉絵，鬼澤璃沙
- 2月17日 茨城歯科専門学校歯科衛生士科第1学年の臨床実習前オリエンテーション
 担当：関口 浩，野村美奈
- 2月23日 茨城県歯科専門学校歯科衛生士科第1学年生徒見学実習
 期間：2月23日～3月16日
 編成：1グループ5人編成で10班
 回数：10回（各班とも月，火，水，木，金のいずれか1日）
 人数：50人
- 2月29日 第49回医局会
 勉強会担当：関口 浩
 課題：小児在宅医療について
 第39回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩，景山万貴子
 医療安全報告・検討会
 担当：鈴木哉絵
- 3月6日 第24回茨城県歯科医学会
 会場：水戸プラザホテル
 題数：ポスター3題，口演2題
 障害児・者歯科講演会（参加人数154人）
- 3月7日 第17回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス（第24，25症例）
 出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春
- 3月11日 鬼澤璃沙，山下千春両歯科衛生士 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座主催の摂食嚥下研修会（第22回）出席
- 3月22日 第2回茨城県歯科医師会障害児・者歯科診療推進小委員会
 場所：茨城県歯科医師会会館
 出席：森永和男会長，征矢 亘専務理事
 （水戸）関口 浩，大森勇市郎，三田村佐智代，森永桂輔，磯野 敦，野村美奈
 鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春
 （土浦）丸山容子，高木伸子，坂巻ますみ，引地美穂，手塚文栄
 河野直弘（水戸済生会総合病院リハビリテーション科）
 人見順一（茨城歯科専門学校事務所属長）
- 3月25日 第50回医局会
 勉強会担当：大森勇市郎
 課題：学校歯科検診
 第39回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩，大森勇市郎
 医療安全報告・検討会
 担当：鈴木哉絵
- 3月30日 4月新採用の鈴木伶菜常勤歯科衛生士研修開始（31日までの2日間）
- 3月31日 山下千春常勤歯科衛生士4月1日より茨城県歯科専門学会歯科衛生士科に異動

11. 録 事

II. 口腔センター土浦

平成27年

- 4月1日 引地美穂歯科衛生士 常勤歯科衛生士として就任
- 4月3日 西山めい先生 非常勤歯科医師として就任
診療室前通路補修工事
- 4月5日 平成27年度障害児・者歯科研修会 ベーシックコース1日目
場所：茨城県歯科医師会
- 4月10日 184回摂食カンファレンス
演題：精神疾患患者と摂食嚥下障害
講師：池田靖子（土浦厚生病院，管理栄養士）
演題：VEやVF，さらには熟練した技術さえもいない，誰でもできる摂食嚥下機能
評価とその対応
講師：市村和大（市村歯科医院 歯科医師 老年歯科医学会認定医）
- 4月15日 口腔センター水戸 土浦合同歓送迎会（水戸 もんどころ）
- 4月19日 平成27年度障害児・者歯科研修会 ベーシックコース2日目
場所：茨城県歯科医師会
- 4月22日 主任会議（センター水戸） 坂巻ますみ
- 5月1日 ベーシックコース見学①
兼久大輔歯科医師，持田雄子歯科衛生士
- 5月7日 バキュームメンテナンス
- 5月8日 かしわ学園歯科検診
検診：丸山容子
第185回摂食カンファレンス
演題：愛正会の1年
講師：根本哲廣（愛正会記念 茨城福祉医療センター リハビリテーション部長）
- 5月15日 レントゲン漏洩検査
ベーシックコース見学②
持田雄子歯科衛生士
- 5月21日 備品監査
- 6月7日 茨城県歯科医師会主催 障害者・児講演会
演題：「発達障害の理解と発達を促す関わり方」
講師：岩崎淳也
第1回水戸・土浦合同医局会
関東障害者歯科臨床研究会実施要領説
- 6月12日 第186回摂食カンファレンス
演題：小児症例検討会
症例検討：①食事時間短縮うまいかないK君
②緊張の高さが取れてきたK君
紹介：ペースト食のチューブ注入のRちゃん
講師：城野貴子（土浦市療育支援事業所）
終了後，懇親会（道頓堀にて）
- 6月21日 歯援診・外来環研修会（各施設基準の届出に対応）
①高齢者の心身の特性（歯援診）
②口腔機能の管理（歯援診）
③緊急時の対応（歯援診・外来環）
④感染症対策（外来環）
⑤医療事故（外来環）
場所：つくばサイエンス・インフォメーションセンター
丸山容子出席
- 6月26日 美浦特別支援学校 個別指導
講師：手塚文栄（見学：丸山容子）

- 7月1日 名称変更
(公社) 茨城県歯科医師会 口腔センター土浦
- 7月10日 第187回摂食カンファレンス
演題: 摂食障害をもつ小児に関連する小児科診療
講師: 渡辺章充 (医師 土浦協同病院 小児科部長)
- 7月26日 第6回関東障害者歯科臨床研究会出席
会場: 東京歯科大学
- 9月3日 筑波大学医学群医学類第5年次学生の公衆衛生実習 (見学) 4名
第1回センター運営委員会
出席: 丸山, 坂巻
- 9月11日~12日
第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会
会場: 京都国際会館
- 10月9日 第188回摂食カンファレンス
演題: 摂食嚥下リハ学会「食道疾患による嚥下障害の講演報告」
栄養改善学会「訪問看護, 入浴, 栄養に歯科が加わり褥瘡改善と肺炎入院ゼロを達成し, 自宅で最後を迎えられた症例」
講師: 手塚文栄
演題: 摂食嚥下リハ学会「口唇圧測定器の開発」
講師: 高木伸子
- 10月15日 Xショット (ポータブルレントゲン) 納品および取り扱い説明
- 10月23日 社会福祉法人桜会 さくら荘 歯科検診
検診: 丸山容子, 木村貴子
- 11月6日~8日
第32回日本障害者歯科学会および学術大会 (名古屋) 参加
ポスター発表2題 坂巻ますみ, 手塚文栄
- 11月13日 独協医科大学5年生4名見学
レントゲン漏洩検査
第189回摂食カンファレンス
演題: 地区別支援学校の食事指導の工夫や調査
①かむ力が弱い子どもの口腔機能を向上させる指導
②特別支援学校教員が感じる, 食事指導や支援に関する課題について
③調査から導かれた窒息事故予防に役立つ簡便スクリーニング方法
講師: ①外岡かおり (土浦特別支援学校)
②星出てい子 (茨城県立医療大学)
③手塚文栄
- 11月15日 歯と口の健康フェスティバル (歯科保健大会) 坂巻, 引地出席
会場: 歯科医師会 (水戸)
- 11月16日 第2回水戸・土浦合同医局会
第1回茨城県歯科医師会障害児・者歯科診療推進小委員会
会場: 霞ヶ浦医療センター会議室
- 11月20日 美浦特別支援学校 摂食個別指導
講師: 手塚文栄 (見学: 丸山容子)
- 11月30日 地主先生見学, 引継ぎ
- 12月7日 梅澤幸司先生退職
水戸・土浦合同忘年会, および梅澤幸司先生送別会 (高砂)
- 12月11日 第190回摂食カンファレンス
演題: 家庭でできる簡単ソフト食 (ムース食) 舌で潰せる固さ
講師: 田中粒 (ふるさとホームつくば 栄養士 調理師)
- 12月14日 地主知世先生 非常勤歯科医師として就任
- 12月28日 仕事納め

平成28年

- 1月6日 仕事初め
- 1月8日 第191回摂食カンファレンス
演題: まひについて

- 講師：安岡利一（多賀総合病院副院長）
2月10日 第2回センター運営委員会
出席：丸山，坂巻
2月12日 第192回摂食カンファレンス 次年度計画作りおよび交流会
2月14日 茨城県歯科医師会主催 障害者・児講演会
演題：「発達障害の理解と支援」～精神科医にできること～
講師：山川百合子（茨城県立医療大 医学センター 准教授）
3月6日 第24回茨城県歯科医学会
3月11日 第193回摂食カンファレンス
演題：ジェントルスティムの紹介
講師：寺島尚哉（株式会社フードケア）
演題：栄養地域連携の会 その後
講師：秋野早苗（管理栄養士 筑波メディカルセンター病院）
3月22日 第2回障害者・児歯科診療推進小委員会
3月23日 保険改定説明会（歯科医師会主催） 県南生涯学習センター
丸山出席
3月28日 地主知世先生，石居由香歯科衛生士歓送迎会 チプレッソにて
3月29日 診療報酬改定説明会 牛久 中央生涯学習センター
坂巻出席
3月31日 第1回口腔センター土浦移設検討臨時委員会
場所：歯科医師会
丸山，坂巻出席
石居由香歯科衛生士退職

12. 編集後記

▶「ことばの教室」開設

平成27年4月1日に、言語聴覚士の磯野 敦先生の指導・助言による「ことばの教室」が開設されました。口腔センター水戸には、歯科治療などで来院される障害児の中に自分の気持ちを言葉で表現できなかったり、発音がしにくいなど、コミュニケーションや発声でお困りのお子さんがいらっしゃいます。そのようなお子さんをもつ保護者が相談をしたくても、子どもをみってくれる言語の専門医が身近にいないので困っているのも実状です。茨城県歯科医師会では、少しでもその悩みを解消するために、ことばの教室を新設しました。活動内容については、平成27年10月発行の茨歯会報10月号「センターだより」に、「ことばの教室の現状と課題」と題して磯野先生が執筆されていますので是非お読みください。

▶「障害児・者歯科研修会：ベーシックコース」開催

茨城県歯科医師会は、茨城県在住または在勤の歯科医師および歯科衛生士で、これから障害児・者歯科診療に取り組もうと考えている方ならびにすでに取り組まれている方を対象に、講義・見学・実習をとおして、障害児・者の歯科的健康を守ることを目指す歯科医師および歯科衛生士の育成を目的に本研修会を実施しました。本年度の研修会には歯科医師と歯科衛生士合わせて14人の研修者が参加されました。本研修会を通じて、歯科的問題を抱え、困っている県内地域の障害児・者の歯科医療に積極的に携わる歯科医師、歯科衛生士が一人でも多く増えて頂ければと考えています。

▶「口腔センター土浦」移転事業

平成28年2月の茨城県歯科医師会理事会において、口腔センター土浦移設検討臨時委員会が発足され、委員会規定が施行されました。口腔センター土浦は平成3年に土浦市保健センター内の一室に開設され、歯科医師1名、歯科衛生士2名、診療チェアー2台で診療活動を行ってきました。部屋が狭いためにパノラマエックス線撮影装置などの大型機器の設置、摂食嚥下リハビリテーションや言語治療を行うために必要な十分なスペース確保できないのが現状です。また平成23年3月の東日本大震災の時には、診療室内の器材・器具がすべて床に落下するなど、災害時の安全確保においても早急に対策を講じる必要があります。さらに、地域の障害児・者来院患者数の増加に伴い、患者受入体制の強化も必要です。新しいセンターの移転先、診療室の規模、スタッフ数などについては未定ですが、これから検討を重ねて決まっていくことと思います。念願の口腔センター土浦の規模の拡充と安心・安全な歯科診療が行える環境が整った新しい口腔センターの開設が望まれます。

最後に、本誌の編集に際して、ご協力いただいた口腔センター水戸および口腔センター土浦のスタッフ各位に感謝を申し上げます。

平成28年3月31日
口腔センター水戸
関口 浩

平成27年度（公社）茨城県歯科医師会 口腔センター記録（5）

発行日	平成28年5月20日発行
発行者	公益社団法人 茨城県歯科医師会 〒310-0911 水戸市見和2-292-1 電話 029-254-4177
印刷所	コトブキ印刷株式会社 〒310-0851 茨城県水戸市千波町2398-1 電話 029-241-1000(代)
